ONKYO®

CD レシーバーシステム

X-S9

CR-S1（CD レシーバー）
D-S9（スピーカーシステム）

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに
保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内
とともに大切に保管してください。

目次

はじめに

接続する

基本の操作

CDを聞く

目次

iPodを再生する

FM放送を聞く

放送局を編集する

名前をつける

いろいろな設定

時計とタイマー

困ったときは

その他

主な特長

「X-S9」はCR-S1（CDレシーバー）とD-S9（スピーカーシステム）で構成されています。

CDレシーバー（CR-S1）部

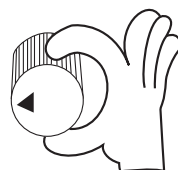
- ■ 音楽CD、MP3/WMAディスクの再生が可能
- ■「VL Digital（デジタル）」技術採用のデジタルアンプ
- ■ 40局メモリー可能なFMチューナー搭載
- ■ 重低音の調整ができるS.BASS（スーパーバス）機能、低音や高音を調整できるBASS（バス）、TREBLE（トレブル）機能
- ■ 4系統のタイマー機能
- ■ 別売のドックを接続すれば、本機付属のリモコンでiPodの操作が可能

スピーカー（D-S9）部

- ■ ウーファー振動板に、「PEN（ポリエチレン・ナフタレート）」による織布と天然繊維とをハイブリッド成形した「A-OMFモノコック」振動板を採用
- ■ ツィーターには小口径の3cmリング型を採用
- ■ AERO（エアロ） ACOUSTIC（アコースティック） DRIVE（ドライブ）採用のスリットダクト

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。

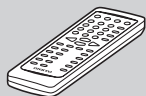
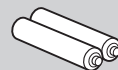
音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

付属品

本機には以下の付属品が同梱されています。確認してください。（　）内の数字は数量を表しています。

センターユニット部に同梱

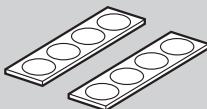
●FM室内アンテナ（1）
FM放送を受信するアンテナです。

●リモコン（RC-757S）（1）

●単3形乾電池（2）

●電源コード（1）

●取扱説明書（本書）（1）
●保証書（1）
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）
●ユーザー登録カード（1）

スピーカーシステム部に同梱

●スピーカーコード 1.8m（2）

●スピーカー用コルクスペーサー（8）

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた
△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意　感電注意

⊘記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止　ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く　必ずする

警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 製品を落としてしまった
- 製品内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

CDレシーバーには内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。

- CDレシーバーを押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（CDレシーバーの天面、横から20cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、製品の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

製品に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 製品の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが製品の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠ 警告

使用上のご注意

■CDレシーバー内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- CDレシーバーの通風孔、CD挿入口から異物を入れない
- CDレシーバーの上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■CD挿入口に手を入れない

指のけが
に注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ､変形､または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■雷が鳴りだしたら製品、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

■長期間大きな音で使用しない

禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■製品の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、製品に乗ったりしないでください。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する

必ずする

製品を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると､火災･感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

CD レシーバーの通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量を上げすぎない

禁止

- 突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■製品の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

製品の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
グリルネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■ 機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■ 本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

CD（音楽CD、MP3、WMA）について

再生上のご注意

CD（コンパクトディスク）はディスクラベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。
パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

※本機はCD-R、CD-RWに対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用CDレコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは絶対に使用しないでください。ディスクがつまるなど機器の故障の原因となります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

MP3、WMAディスクの再生について

本機はCD-R/CD-RWに記録したMP3、WMAファイルを再生することができます。

- ISO9660レベル2のファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。（ただし、対応している階層はISO9660レベル1と同じ8階層までです。）
  また、HFS（hierarchical file system）ファイルシステムで記録されたディスクは再生できません。
- フォルダー（ルートを含む）は最大99まで、またフォルダー（ルートを含む）とファイルの合計が499まで認識・再生することができます。
- ディスクはクローズしてください。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります。（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）
- データ容量が小さすぎるディスクは再生できないことがあります。

MP3ディスクの再生について

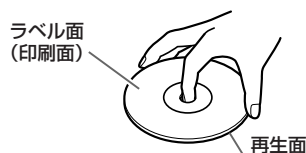
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1オーディオレイヤー 3（32-320kbps）のサンプリング周波数32/44.1/48kHzで記録されたファイルに対応しています。
- 32kbpsから320kbpsの可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

WMAディスクの再生について

- WMAは「Windows Media® Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。
- 「.wma」、「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 64kbpsから160kbps（32/44.1/48kHz）の可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 著作権保護されたWMAファイルは再生できません。
- WMA Pro、LosslessおよびVoiceには対応していません。

＊Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などをつけないようにしてください。

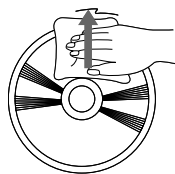
レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

インクジェットプリンター対応CD-R/CD-RWの注意について

プリンターでラベル面への印刷が可能なCD-R/CD-RWを本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となる恐れがあります。
必要なとき以外はディスクを入れたままにしないで、ケースに保管してください。なお、印刷直後のディスクは貼り付きやすいので、使用しないでください。

CDのお手入れについて

汚れにより信号が読み取りにくくなり、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

製品の取り扱いについて

お手入れについて

CDレシーバーの表面はときどき柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと、乾いた布で仕上げをしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書などをお読みください。
スピーカーのグリルネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るかブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

スピーカーを設置する際のご注意

スピーカーを設置する場合には付属のコルクスペーサーを必ず使用し、塗装部分が、可塑剤(かそざい)*を含む製品に直接接触しないようにご注意ください。スピーカーの表面を覆っている塗装皮膜は、可塑剤を含む製品に長時間接触していると、色移りしたり色落ちすることがあります。
これを「可塑剤の移行」と言い、可塑剤を含む製品に長時間接触することで､その製品に含まれている可塑剤がスピーカーの塗装膜を軟化させることによって生じる現象です。
滑り止めシートやソファーなどは、製品によって可塑剤が含まれている場合があります。スピーカーに接触することで色が移ったり、スピーカーの色が落ちたりするトラブルが起こった場合は保証の対象とはなりません。

*可塑剤とは、ある材料に柔軟性を与えたり、加工しやすくするために添加する物質のことで、主に、塩化ビニール（塩ビ）を中心としたプラスチック製品に用いられます。可塑剤は次のような製品に使用されている場合があります。

- 合成皮革（ソファー、椅子、テーブルクロス、衣類など）
- 滑り止めシート
- 建材（壁紙、床材、天井材など）
- 電線被覆（家電製品のコード、ケーブル類）
- フィルム・シート（雑誌や書籍の表装、機器などに使用しているカバーなど）
- 塗料・接着剤・顔料（ダンボール箱や家具などの合板用）

テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
付属のスピーカーは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り､15分〜30分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると、本機との相互作用によりテレビに色むらが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

取り扱い上のご注意

付属のスピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

①FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
②発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④マイク使用時のハウリング
⑤テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥アンプが発振しているとき
⑦ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について

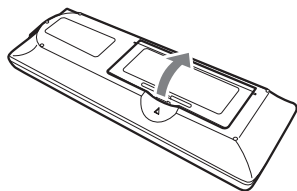
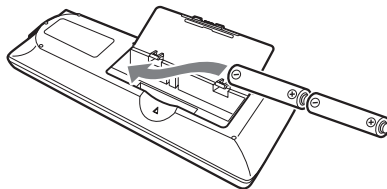
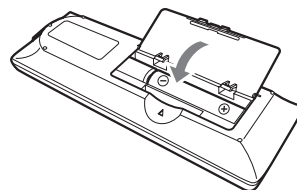
CDレシーバーを冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、CDレシーバーの内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます｡そのままでは正常に働かないばかりではなく､ディスクや部品も痛めてしまいます。CDレシーバーをご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、約1時間放置してからご使用ください。

メモリー保持について

CDレシーバーには、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。CDレシーバーの電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約1週間です。
ただし、時計は止まりタイマー設定は「OFF」になりますので、再度設定してください。

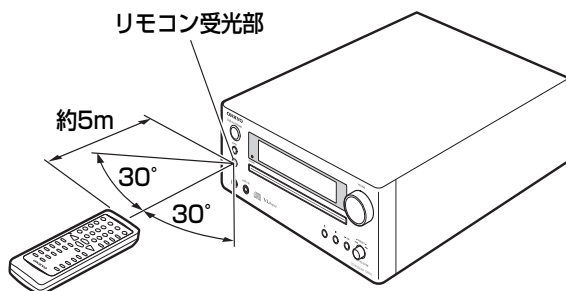
準備する

リモコンに乾電池を入れる

1. カバーを開ける

2. カバー裏の表示にしたがって、⊕と⊖を間違えないように付属の単3形乾電池2本を入れる

3. カバーを閉じる

ご注意

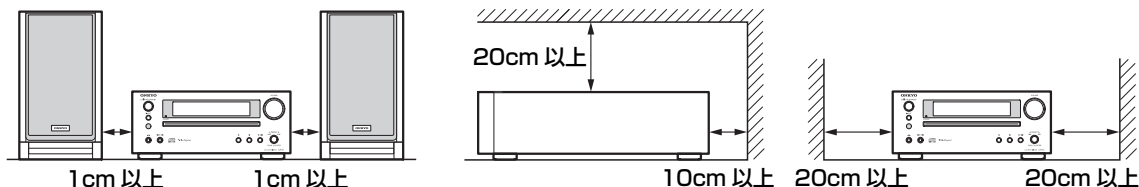
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、2本とも新しい電池と交換してください。
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。

リモコンの使いかた

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンが正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを同時に使用すると誤動作の原因となります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。

本体、スピーカーを設置する

本体は熱くなりますので、放熱のために下図のように天面、横から20cm以上、背面から10cm以上離して設置してください。

スピーカーの音質は、設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音を楽しんでいただくために、次のことにご注意ください。

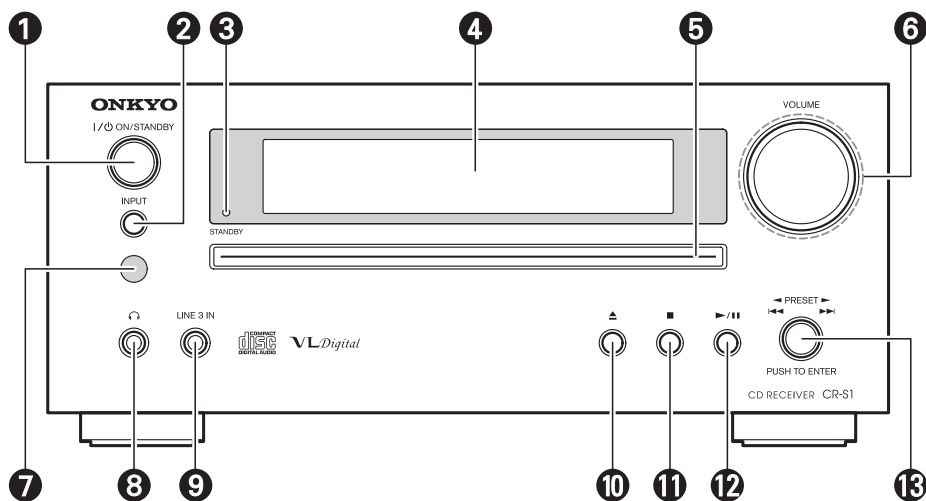
- スピーカーを床に直接置くと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。スピーカースタンドまたはブロック、レンガ、堅い棚等の上に置くようにしてください。
- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件がそろうことが、良い結果になります。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

ご注意

- スピーカーのキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。

各部の名前と主な働き

前面パネル

〔　〕のページに主な説明があります。

❶ **ON(オン)/STANDBY(スタンバイ)ボタン〔23〕**
電源のオン/スタンバイを切り換えます。

❷ **INPUT(インプット)ボタン〔23〕**
聞くソースを選びます。

❸ **STANDBY(スタンバイ)インジケーター〔23〕**
スタンバイ状態のときに点灯します。

❹ **表示部〔14〕**
14ページをご覧ください。

❺ **CD挿入口〔25〕**
CDを挿入します。CDを入れると、本機内部に引き込まれます。

❻ **VOLUME(ボリューム)つまみとインジケーター〔24〕**
音量を調節します。電源を入れるとつまみの周りのインジケーターが点灯します。ミューティングが働いているときは、インジケーターが点滅します。

❼ **リモコン受光部〔11〕**
リモコンからの信号を受信します。

❽ **🎧(フォーンズ)端子〔24〕**
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

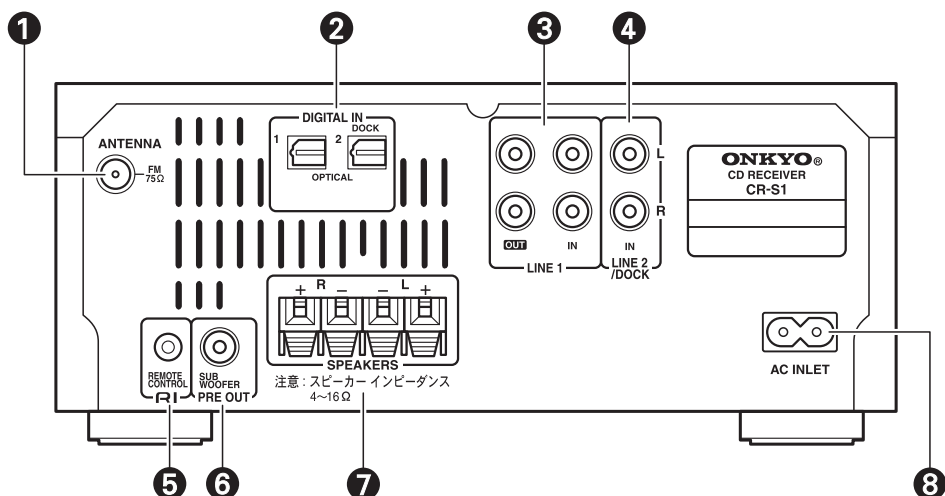
❾ **LINE(ライン) 3 IN(イン)端子〔21〕**
デジタルオーディオプレーヤーなどのポータブル機器を接続します。

❿ **▲(イジェクト)ボタン〔25〕**
CDを取り出すときに押します。

⓫ **■(ストップ)ボタン〔25〕**
CDの再生を停止します。

⓬ **►/❚❚(プレイ/ポーズ)ボタン〔25〕**
CDの再生を始めます。再生中に押すと、一時停止状態になります。

⓭ **ジョグダイヤル〔25、36〕**
CDのときは曲を選びます。FMのときは登録した放送局を選びます。

背面パネル

❶ **ANTENNA（FM75Ω）端子**
付属のFM室内アンテナ、またはFM屋外アンテナを接続する端子です。

❷ **DIGITAL IN（OPTICAL）1､2/DOCK端子**
光デジタル音声入力端子です。
デジタルメディアトランスポートND-S1は2/DOCK端子に接続します。
PCM信号のみに対応しています。

❸ **LINE 1 IN/OUT端子**
カセットテープデッキやMDレコーダーなどを接続する端子です。

❹ **LINE 2/DOCK IN端子**
パソコンなどを接続する端子です。
DOCKはここへ接続します。

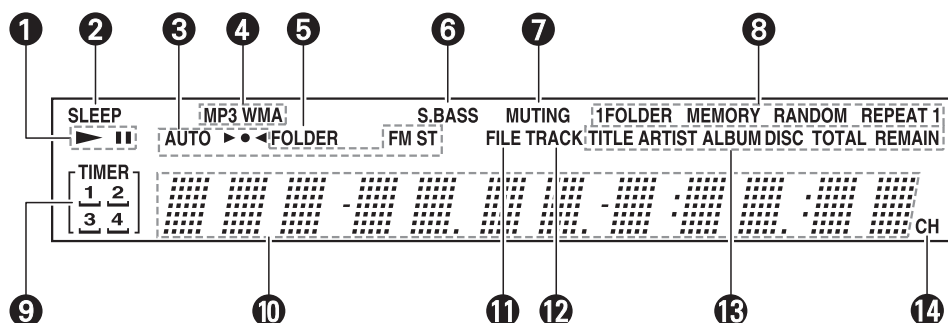
❺ **RI REMOTE CONTROL端子**
RI端子付きのオンキヨー機器と接続し、連動させるための端子です。

❻ **PRE OUT（SUBWOOFER）端子**
アンプ内蔵のサブウーファーを接続する端子です。

❼ **SPEAKERS端子**
スピーカーを接続する端子です。
同梱のスピーカー（D-S9）を接続します。

❽ **AC INLET**
付属の電源コードを接続します。

接続については、17～22ページをご覧ください。

表示部

❶ **再生表示**
CDの再生状態を表示します。

❷ **SLEEP表示**
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

❸ **FM受信状態表示**
FM受信時の状態を表示します。(☞33、36ページ)

❹ **MP3 WMA表示**
MP3/WMAディスクをセットしているとき、停止中はディスクに入っているファイル形式を表示します。再生中はそのファイル形式を表示します。

❺ **FOLDER表示**
MP3/WMAディスクのフォルダー番号が表示されているときに点灯します。

❻ **S. BASS表示**
スーパーバスが働いているときに点灯します。

❼ **MUTING表示**
ミューティングが働いているときに点滅します。

❽ **再生モード表示**

1 FOLDER ：1フォルダー再生時に点灯します。
MEMORY ：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RANDOM ：ランダム再生時に点灯します。
REPEAT ：リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1 ：1曲リピート再生時に点灯します。

❾ **TIMER表示**
タイマーのセット状態を表示します。
1 ～4 ：タイマー 1～4設定時にその番号が点灯します。
␣ ：タイマー録音設定時に点灯します。

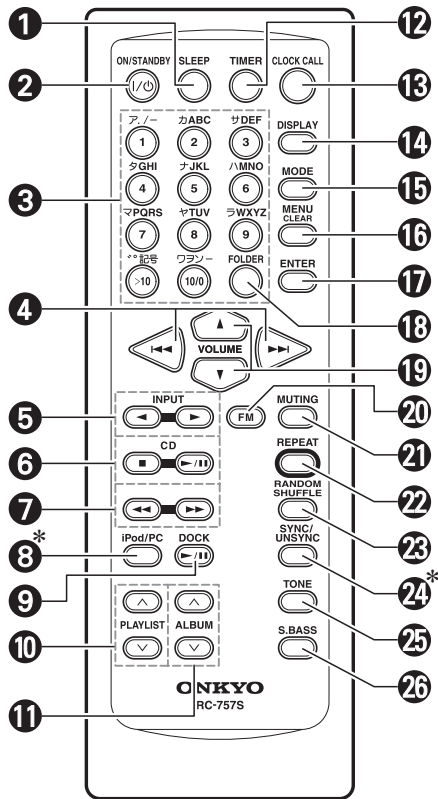
❿ **多目的表示部**
入力ソースや再生時間などを表示します。

⓫ **FILE表示**
MP3/WMAディスクのファイル番号が表示されているときに点灯します。

⓬ **TRACK表示**
トラック番号が表示されているときに点灯します。

⓭ **情報表示**
多目的表示部に表示されている情報によって、それを示す表示が点灯します。

⓮ **CH表示**
FMのチャンネル番号が表示されているときに点灯します。

リモコン（RC-757S）〔 〕のページに主な説明があります。

＊❽㉔は、別売のデジタルメディアトランスポートND-S1専用ボタンです。ND-S1を接続しないときは動作しません。詳細は、ND-S1の取扱説明書をご覧ください。

❶ SLEEPボタン〔45〕
スリープタイマーの設定に使用します。

❷ ON/STANDBYボタン〔23〕
電源のオン/スタンバイを切り換えます。

❸ 数字、文字ボタン〔26、36、39、40、43、44〕
選曲時に使用します。また、放送局名などの文字入力時や時刻設定時に使用します。

❹ ⏮/⏭ ボタン
〔26、28、32、34～43、44～49〕
CD、DOCKのときは曲を選びます。FMのときは登録した放送局を選びます。設定時は項目を選びます。

❺ INPUT◀/▶ボタン〔23、39〕
押すごとに入力が切り換わります。文字入力時はカーソルを移動します。

❻ CD操作ボタン〔26〕
■：再生を停止します。
►/❚❚：再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。

❼ ◀◀/▶▶ボタン〔26、32、33〕
CD、DOCKのときは再生中の曲を早戻し、早送りします。FMのときは周波数を合わせます。

❽ iPod/PCボタン〔32〕
デジタルメディアトランスポートND-S1（別売）の入力を切り換えます。

❾ DOCK►/❚❚ボタン〔32〕
ドックにセットしたiPodを再生/一時停止させます。

❿ PLAYLIST∧/∨ボタン〔32〕
ドックにセットしたiPodのプレイリストを選びます。

⓫ ALBUM∧/∨ボタン〔32〕
ドックにセットしたiPodのアルバムを選びます。

⓬ TIMERボタン〔44、46、49〕
時計やタイマーの設定を行います。

⓭ CLOCK CALLボタン〔44〕
時計を表示させるときに押します。

⓮ DISPLAYボタン〔26、36、39、43〕
押すたびに表示部の情報が切り換わります。
文字入力時は文字の種類を選びます。

⓯ MODEボタン〔28、29、36〕
再生モードを設定します。

⓰ MENU/CLEARボタン〔30、32、34、35、37～40、43〕
設定に入ります。設定中は操作を取り消して元に戻ります。

⓱ ENTERボタン
〔28、30、34、35、37～41、43～49〕
設定の項目を確定します。

⓲ FOLDERボタン〔26、27、39、40〕
MP3/WMAのディスクのフォルダーを選ぶときに使用します。

⓳ VOLUME▼/▲ボタン〔24〕
音量を調節します。

⓴ FMボタン〔33、34、36〕
入力をFMに切り換えます。

㉑ MUTINGボタン〔24〕
音を一時的に消します。

㉒ REPEATボタン〔29、32〕
くり返し再生を設定します。

㉓ RANDOM/SHUFFLEボタン〔29、32〕
ランダム再生を設定します。

㉔ SYNC/UNSYNCボタン
デジタルメディアトランスポートND-S1（別売）のSYNC/UNSYNCを切り換えます。UNSYNC状態にするには、2秒以上押します。

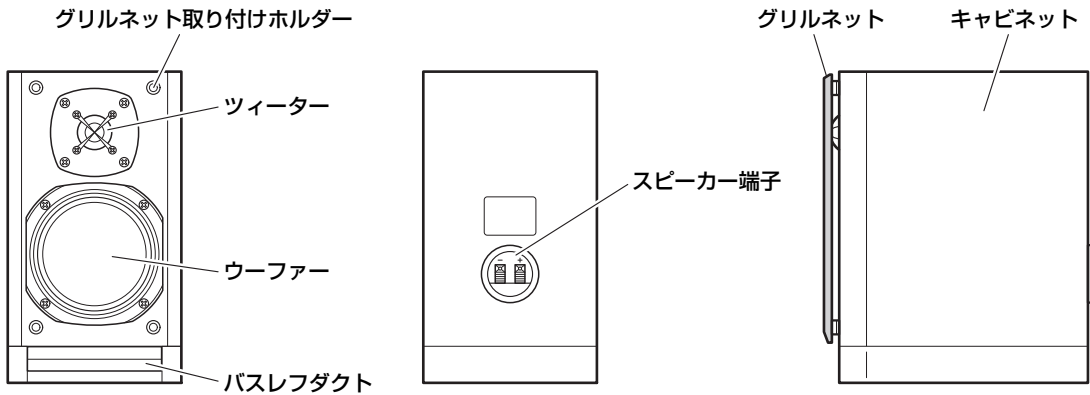
㉕ TONEボタン〔41〕
低音（BASS）、高音（TREBLE）を調整します。

㉖ S. BASSボタン〔41〕
重低音を強調します。

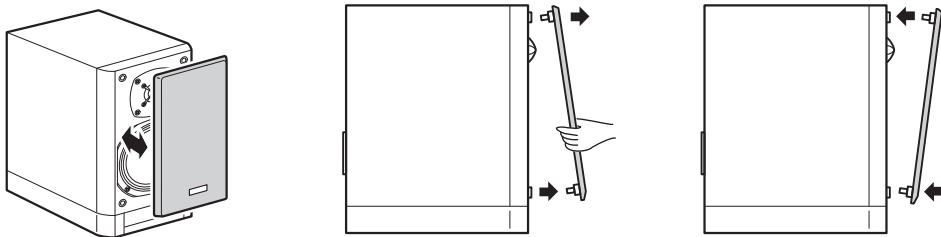
※ オンキヨー製のデジタルメディアトランスポートやRIドックを接続しているときに使用できるボタンについての詳細は、32ページをご覧ください。

各部の名前と主な働き

スピーカー（D-S9）

D-S9にはスピーカーの左右の区別はありません。どちらを左側/右側で使用しても音質は変わりません。

■グリルネットの脱着

D-S9は前面のグリルネットを取りはずすことができます。グリルネットを取り付けたり、はずしたりするときは次のように行ってください。

1. グリルネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、グリルネットの下側をはずします。
2. 同じようにグリルネットの上側を手前に引っ張ると、グリルネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、本体のグリルネット取り付けホルダーにグリルネットの四隅にあるピンを合わせて押し込みます。

■付属のコルクスペーサーを使う

安定した設置と、より良い音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。
コルクスペーサーは、図のようにD-S9底面の四隅に貼り付けてください。

ご注意

コルクスペーサーを貼るときは、やわらかい布の上で作業を行うなど、スピーカー表面に傷を付けないようご注意ください。

接続する

スピーカーを接続する

右側(Rチャンネル)の
スピーカー

左側(Lチャンネル)の
スピーカー

赤い線側

スピーカー
コード

R L
SPEAKERS

1.ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線をよじります。

2.スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
スピーカーコードのビニールカバーをはさみ込まないようにしてください。

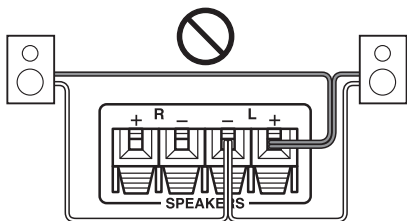
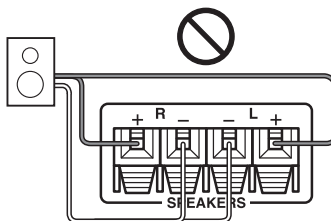
3.スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

ANTENNA FM 75Ω DIGITAL OPTICAL ONKYO CD RECEIVER CR-S1 OUT IN LINE 1 IN LINE 2 /DOCK SPEAKERS 注意：スピーカーインピーダンス 4〜16Ω REMOTE CONTROL SUB WOOFER PRE OUT AC INLET

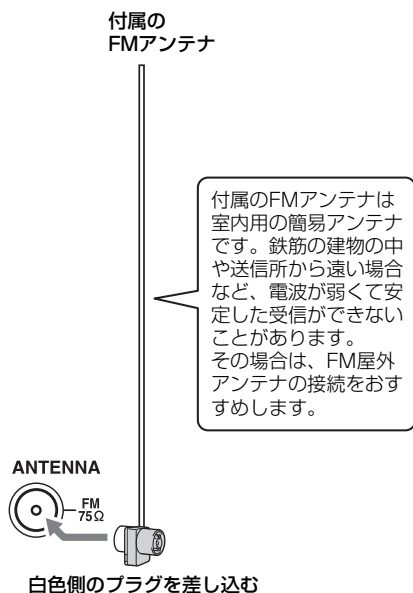
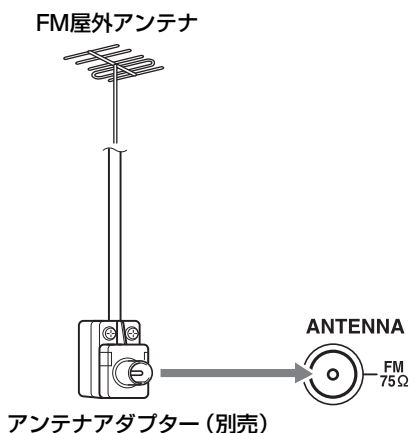
- スピーカーのプラス⊕と本体のプラス⊕を、スピーカーのマイナス⊖と本体のマイナス⊖を接続します。
付属のスピーカーコードの赤い線の方をプラス⊕側に接続してください。
- 故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線どうしやしん線を背面パネルに絶対に接触させないでください。

- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。
- スピーカーはインピーダンスが4Ω（オーム）〜16Ωのものを接続してください。4Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。同梱のスピーカー（D-S9）は、本機（CR-S1）に合うように設計されています。本機と他のスピーカーを組み合わせてご使用になった場合の故障については、保証できない場合がありますのでご了承ください。
- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続(例1)したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列に接続(例2)しないでください。故障の原因になります。

例1：

例2：

アンテナを接続する

付属のFMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。（☞33ページ）

FM屋外アンテナを接続する

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

ご注意

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 送電線の近くは危険ですので、絶対にアンテナを設置しないでください。

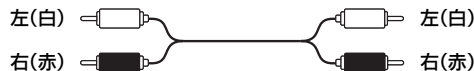
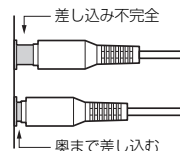
！ヒント

ケーブルテレビをご覧の方は、FMがテレビと同時に送られている場合がありますので、それを利用すれば安定したFM受信が可能です。受信方法や周波数については、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

外部機器を接続する

オーディオ用ピンコードについて

- オーディオ用ピンコードは、白いプラグを左（L）チャンネル、赤いプラグを右（R）チャンネルに接続してください。

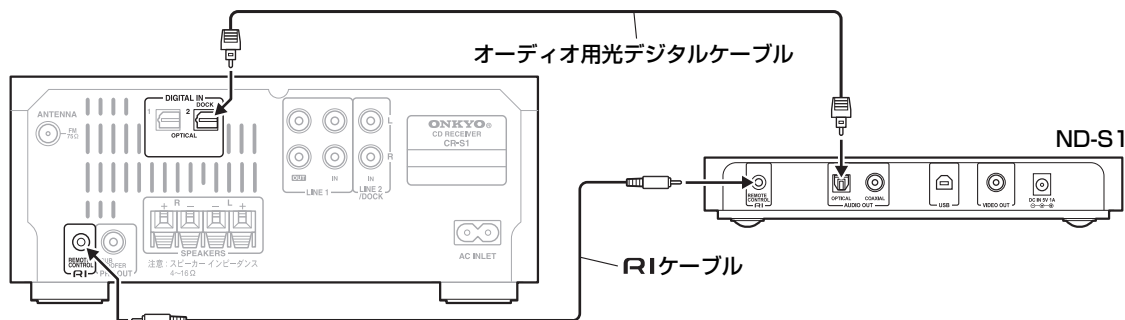
左(白)　　左(白)
右(赤)　　右(赤)

- コードのプラグはしっかり奥まで差し込んでください。接続が不完全だと、雑音や動作不良の原因になります。

光デジタル入力端子について

本機の光デジタル入力端子は、とびらタイプです。とびらを奥へ倒すように光デジタルケーブルを差し込んでください。

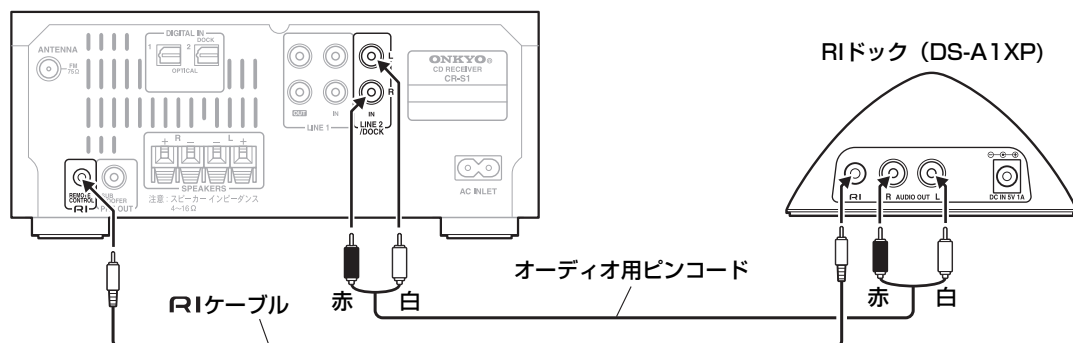
ご注意　光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、端子のとびらを破損することがあります。

外部機器の表示名称を設定することができます。わかりやすい名称にしておくと入力切り換えのときに便利です。また、オンキヨー製機器と連動させるためには、所定の名称に設定する必要があります。設定方法は42ページをご覧ください。

デジタルメディアトランスポートND-S1を接続する

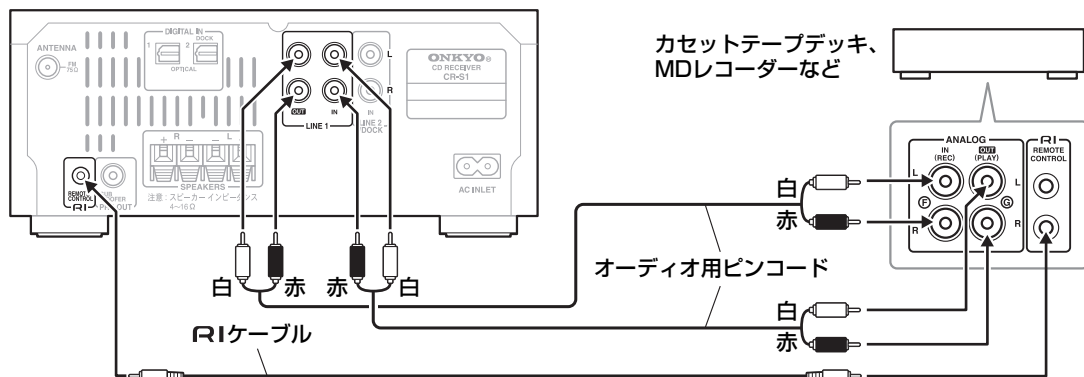
ND-S1の取扱説明書をご覧ください。
本機のDIGITAL IN2/DOCK端子とND-S1のDIGITAL OUT端子を接続してください。
本機のRI端子とND-S1のRI端子を接続してください。

ご注意　本機をデジタルメディアトランスポートと連動させるために、DIGITAL2の表示名称を「DOCK〔DIG〕」に設定してください。（☞42ページ）お買い上げ時は「DOCK〔DIG〕」に設定されていますので、そのままお使いください。

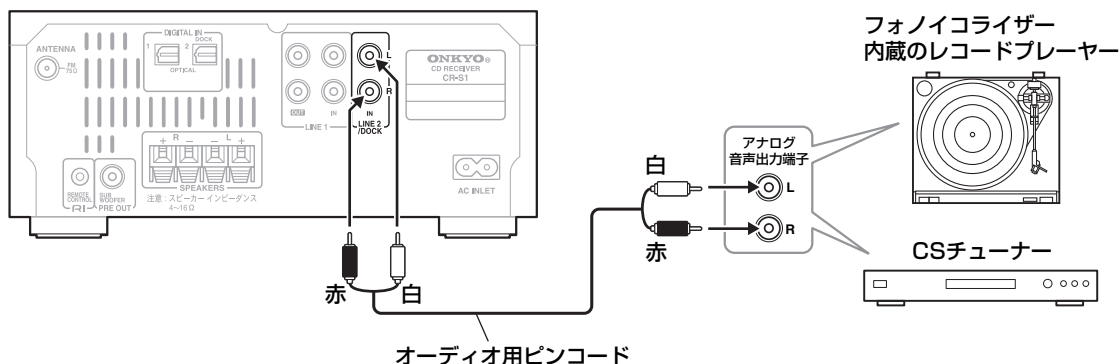
リモートインタラクティブドック（RIドック）を接続する

RIドックの取扱説明書をご覧ください。
本機のLINE2/DOCK IN端子とRIドックのAUDIO OUT端子を接続してください。
本機のRI端子とRIドックのRI端子を接続してください。

ご注意
- 本機とRIドックを連動させるために、LINE2の表示名称を「DOCK」に設定してください。（☞42ページ）
- RIドックとデジタルメディアトランスポートND-S1を同時にRIケーブルで接続して連動させることはできません。RIドックと接続するときは、ND-S1のRIケーブルを外してください。

外部機器を接続する

オンキヨー製カセットテープデッキやMDレコーダーを接続する

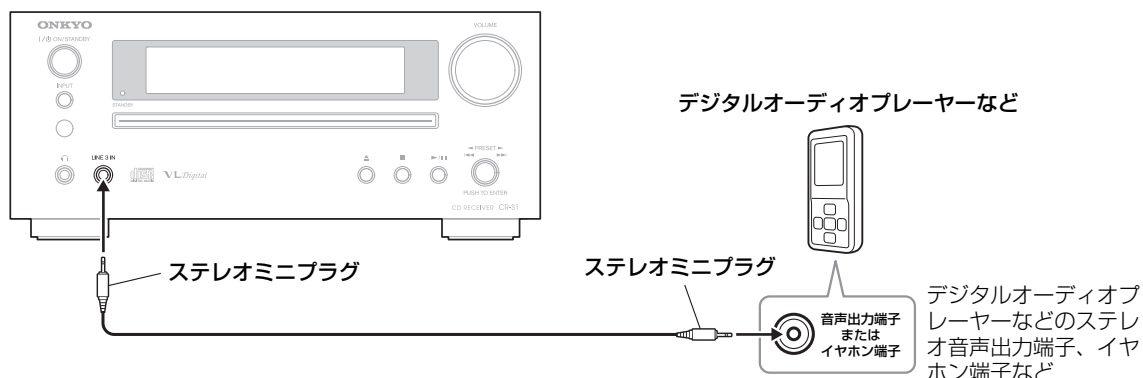
本機のLINE1 IN端子とカセットテープデッキまたはMDレコーダーの音声出力端子OUTPUT(PLAY)を接続してください。
本機のLINE1 OUT端子とカセットテープデッキまたはMDレコーダーの音声入力端子INPUT(REC)を接続してください。
本機のRI端子とカセットテープデッキまたはMDレコーダーのRI端子を接続してください。

レコードプレーヤーやCSチューナーなどを接続する

本機のLINE2/DOCK IN端子と外部機器の音声出力端子を接続してください。
LINE1が空いているときは、LINE1 IN端子に接続することもできます。
なお、外部機器にデジタル音声出力（光）端子がある場合は、21ページのデジタル接続をすることもできます。

ご注意

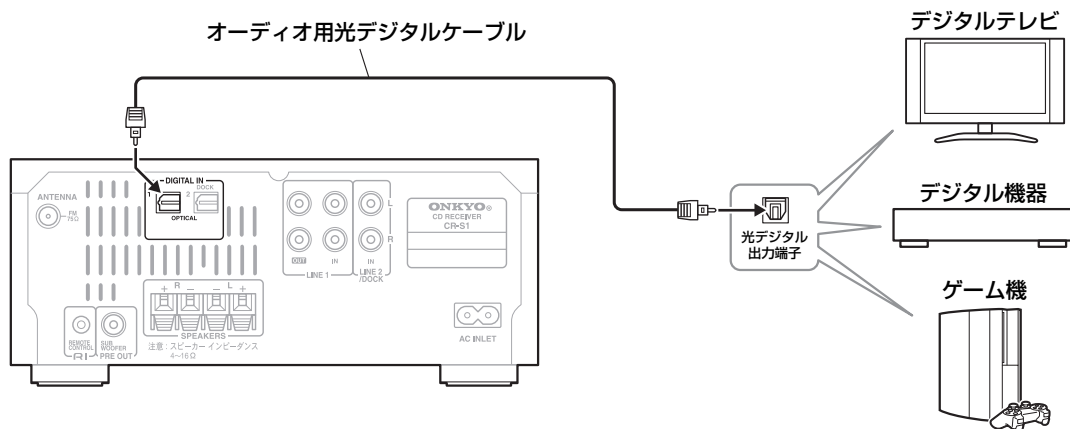
- レコードプレーヤーはフォノイコライザー内蔵のものをお使いください。フォノイコライザー内蔵でないレコードプレーヤーの場合、別途フォノイコライザーが必要になります。詳細は、レコードプレーヤーやフォノイコライザーの取扱説明書をご覧ください。
- RIドックはLINE2/DOCK IN端子に接続します（☞19ページ）ので、RIドックを使用する場合は上記の外部機器はLINE1 IN端子あるいは前面のLINE3 IN端子に接続してください。

外部機器を接続する

ポータブル機器などを前面に接続する

本機の前面にLINE3 IN端子（ステレオミニジャック）がありますので、ポータブル機器などを接続するのに便利です。
本機のLINE3 IN端子とポータブル機器のイヤホン端子などを市販の適切なケーブルで接続してください。

ご注意
本機の音量をかなり上げても十分な音量にならないときは、デジタルオーディオプレーヤー側の音量を上げてください。

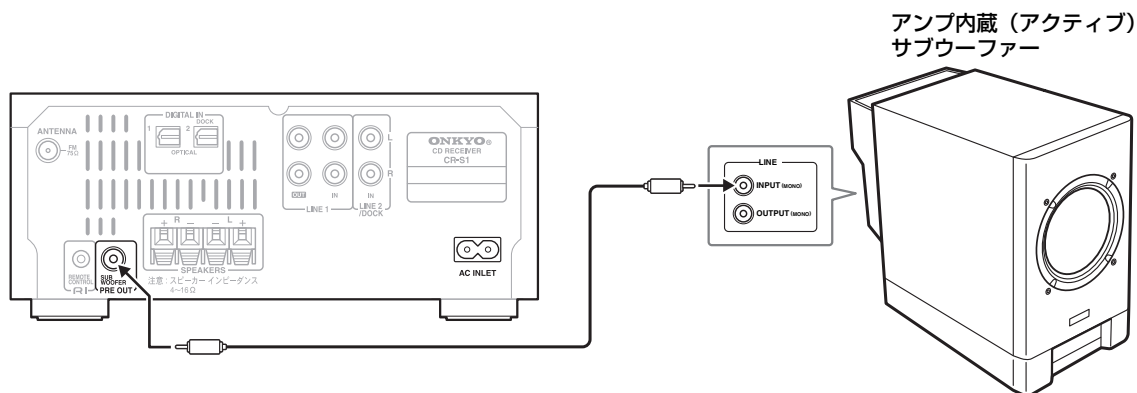
外部機器をデジタル接続する

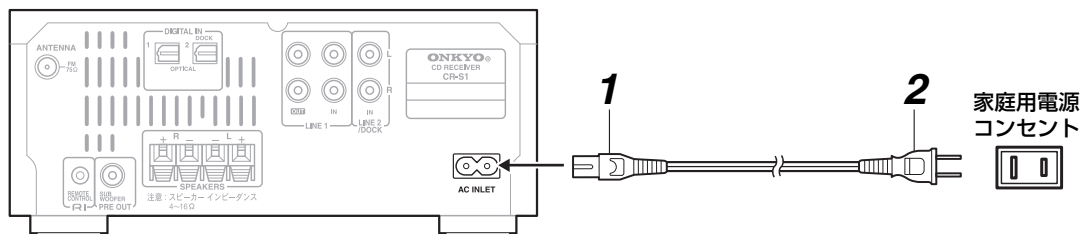
本機のDIGITAL IN1端子と外部機器のデジタル音声出力（光）端子を接続してください。
DIGITAL IN2/DOCK端子が空いているときは、DIGITAL IN2/DOCK端子に接続することもできます。

！ヒント
表示名称の候補として、DIGITAL1にテレビ、ゲーム機やDVD、DIGITAL IN2/DOCKにパソコンなどが用意されています（☞42ページ）ので、それに合わせて接続することをおすすめします。

ご注意
本機のデジタル音声入力端子は、PCM信号のみに対応しています。接続した機器のデジタル音声出力をPCMに設定してください。

外部機器を接続する

サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトです。サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を接続してください。

電源コードを接続する

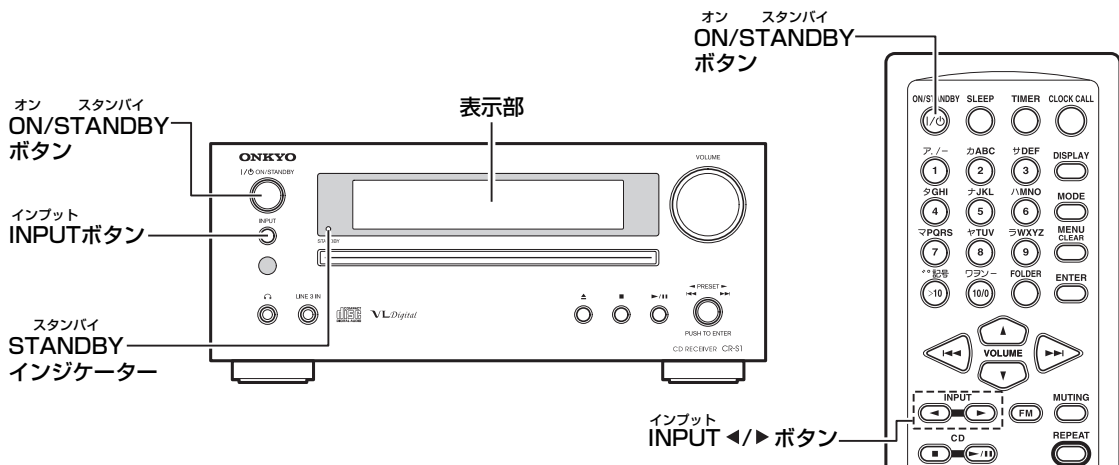
すべての機器を接続した後、電源コードを接続します。

1 付属の電源コードを背面のAC INLET（インレット）に接続する

2 電源コードのプラグを家庭用電源コンセントに接続する

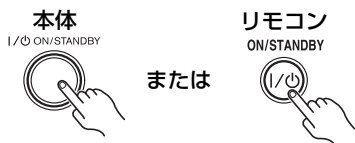
STANDBY（スタンバイ）インジケーターが点灯し、スタンバイ状態になります。

ご注意

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
- **電源コードのプラグをコンセントに差したままAC INLET（インレット）側をはずさないでください。誤って電源コード内部の電極に触れると感電するおそれがあります。**
- 電源オン状態で電源コードを抜いたときは、次に電源コードを差したときは電源オンになります。

基本の操作を理解する

電源を入れる

電源を入れる前に

- 17～22ページの接続がすべて終了しているか確認してください。

本体またはリモコンのON/STANDBYボタンを押す

STANDBYインジケーターが消え、表示部が点灯して電源が入ります。
スタンバイ状態に戻すには、同じボタンをもう一度押します。

！ヒント

RI端子のあるオンキヨー製機器と所定の接続（☞19、20ページ）をし、本機の入力名称を正しく設定（☞42ページ）した場合は、それらの機器の電源を入れたり再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機のオンとスタンバイを切り換えると、それらの機器の電源も連動してオンまたはスタンバイ状態になります。

入力を切り換える

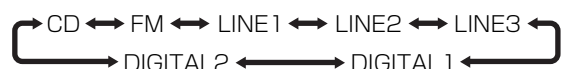
本体のINPUTボタンまたはリモコンのINPUT ◀/▶ボタンを押す

次のように入力が切り換わります。

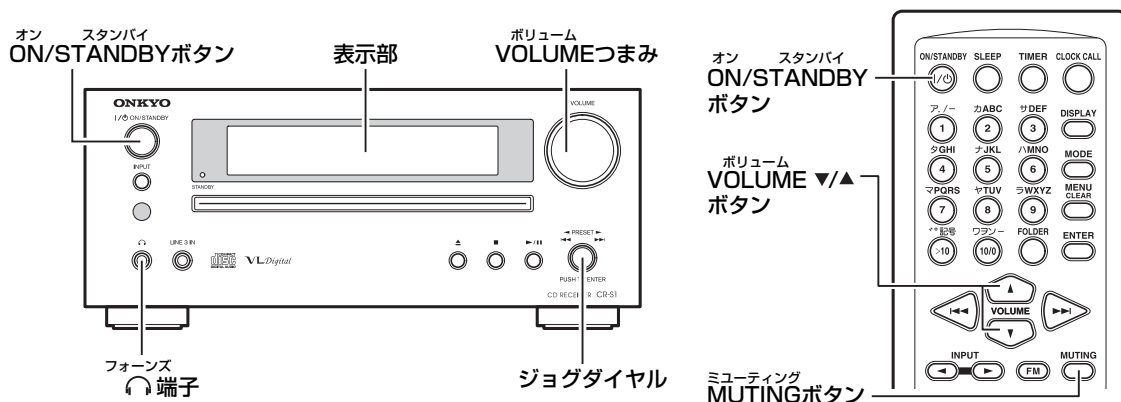
■ DIGITAL2の表示名称を「DOCK〔DIG〕」にしたとき（お買い上げ時）

※ ND-S1と接続しているときは、DOCK〔DIG〕は自動的にiPod〔DIG〕またはPC〔DIG〕に表示が切り換わります。なお、iPod〔DIG〕とPC〔DIG〕の切り換えは、ND-S1の入力切換で行います。

■ LINE2の表示名称を「DOCK」にしたとき

■ DIGITAL2、LINE2ともに「DOCK」以外の表示名称にしたとき

！ヒント

CD、FM以外の表示名称は任意に設定することができます。（☞43ページ）

基本の操作を理解する

音量を調節する

本体のVOLUMEつまみを回すか、リモコンのVOLUME▼/▲ボタンを押す

音量は、Min、1～41、Maxの範囲で調節できます。

音を一時的に消す

リモコンのMUTINGボタンを押す

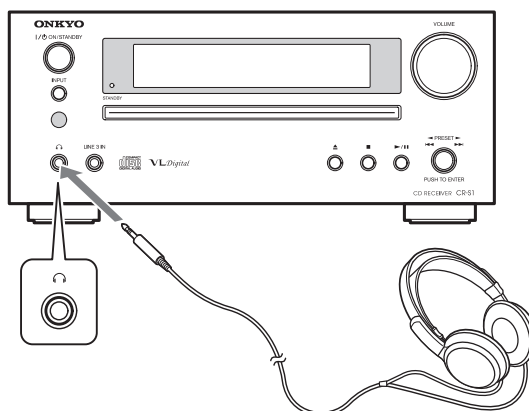
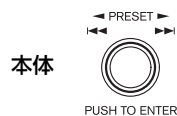
MUTING表示とVOLUMEインジケーターが点滅し、音が消えます。

解除するには…

もう一度MUTINGボタンを押します。

- 音量を変えたり、ON/STANDBYボタンを押した場合にも解除されます。

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのステレオミニプラグを🎧端子に接続します。
接続するときは、音量を下げてください。
ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

表示部の明るさを切り換える

CDを再生中の場合は停止してください。

❶ **本体のジョグダイヤルを2秒以上押す**

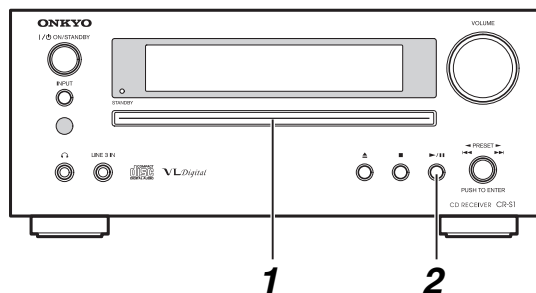
❷ **ジョグダイヤルを回して「Dimmer?」を選び、ジョグダイヤルを押す**

❸ **ジョグダイヤルを回して、表示部の明るさを切り換える**

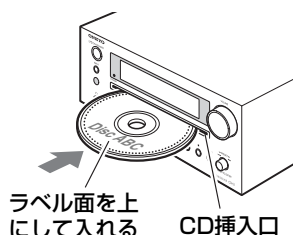
❹ **ジョグダイヤルを押す**

「Complete」と表示された後、元の表示に戻ります。

CD（音楽CD、MP3、WMA）を聞く

基本の操作

1

CD挿入口にCDを入れる

ラベル面を上にして入れてください。
CDが本体に引き込まれます。

ご注意

8cmCDもそのまま入れてください。アダプターを使用すると、故障の原因になります。

！ヒント

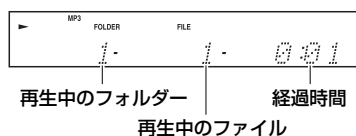
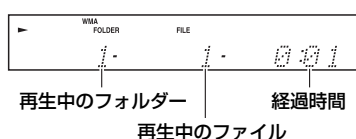
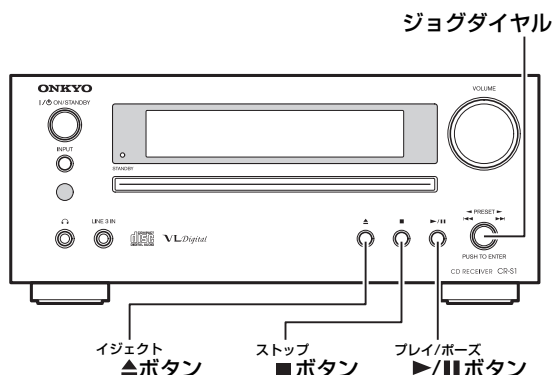
スタンバイ状態のときにCDを入れると、自動的に電源が入ります。

2

►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

再生が始まります。

音楽CDの場合

MP3ファイルの場合

WMAファイルの場合

本体で操作する

聞きたい曲を選ぶ

再生中/一時停止中にジョグダイヤルを左へ回すと現在の曲の頭に戻り、さらに回すと1つずつ前の曲に戻ります。右へ回すと1つずつ次の曲に進みます。

停止中にジョグダイヤルを回すと曲が選べ、押すと再生が始まります。
再生中にジョグダイヤルを押すと、音楽CDの場合は次の曲に進みます。MP3/WMAディスクの場合は次のフォルダーの1曲目に進みます。

一時停止する

►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押します。
表示部に❚❚（ポーズ）表示が点灯します。
もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

■（ストップ）ボタンを押します。

CDを取り出す

▲（イジェクト）ボタンを押します。

！ヒント

スタンバイ状態のときに▲ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

CDが取り出せないときは

CDが入っているのに「No Disc（ノー ディスク）」と表示されて取り出せないときは、▲ボタンを3秒以上押し続けてください。

CD（音楽CD、MP3、WMA）を聞く

リモコンで操作する

数字ボタン

選曲して再生する

10/0ボタン：10または0を選びます。
>10ボタン ：2桁以上の曲番を選びます。
例）曲番　押すボタン

曲番	押すボタン
8	8
10	10/0
34	>10、3、4（99曲以下のとき）
	>10、10/0、3、4（100曲以上のとき）

11曲目以降を再生するときは、>10 ボタンを押してから選曲します。

聞きたい曲を選ぶ

再生中/一時停止中に ⏮ ボタンを押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと1つずつ前の曲に戻ります。
⏭ ボタンを押すと1つずつ次の曲に進みます。

再生を止める

表示部の情報を切り換える

DISPLAYボタンを押します。

聞きたいフォルダーを選ぶ
（MP3、WMAディスクの場合のみ）

再生中/一時停止中にMENU/CLEARボタンを押すと1つずつ前のフォルダーの1曲目に戻ります。
ENTERボタンを押すと1つずつ次のフォルダーの1曲目に進みます。

フォルダー番号を入力する

再生/一時停止する

CDがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。
再生中に押すと一時停止状態になります。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。◀◀ ボタンを押し続けると早戻し、▶▶ ボタンを押し続けると早送りになります。

表示部の情報を切り換える

リモコン

リモコンのDISPLAYボタンを押す

ボタンをくり返し押すと、下記のように情報の切り換えができます。

■音楽CDの場合

停止中

総曲数　総再生時間（DISC TOTAL）

再生中、一時停止中

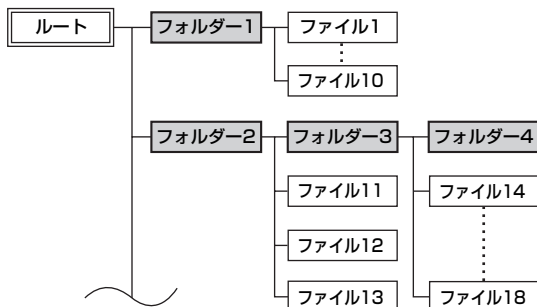
■MP3、WMAディスクの場合

停止中

総フォルダー数　総ファイル数　ディスク名

再生中、一時停止中

MP3、WMAのファイルを選ぶ（リモコンのみ）

CD（MP3、WMA）では、フォルダーの中にファイルが入っています。
フォルダーの中にさらにフォルダーが入っていて、その中にファイルが入っている場合もあり、下記の例のように階層構造になっています。

再生するときにフォルダーもファイルも選ばなかったときは、上記のファイル番号順に再生します。
フォルダーを選んでから再生したいファイルを選ぶには、次の二つの方法があります。

ナビゲーションモード：フォルダーの階層にしたがって順にフォルダーを選択し、ファイルを選びます。

オールフォルダーモード：すべてのフォルダーが同列に扱われ、階層には関係なく、フォルダーを選んでファイルを選びます。

ナビゲーションモードでファイルを選ぶ

ランダム再生モードまたは1フォルダーモードになっているときはそれぞれ解除してください。（☞28、29ページ）

1. 停止中にFOLDER（フォルダー）ボタンを押す
表示部に「Root（ルート）」と表示されます。

2. ENTER（エンター）ボタンを押す
「Root」の下の最初のフォルダー名が表示されます。
フォルダーがないときは、ファイル名が表示されます。

3. ⏮/⏭ボタンを押して、同じ階層にあるフォルダーやファイルを選ぶ
ファイルの入っていないフォルダーは選ぶことができません。

4. フォルダーやファイルを選んだら、ENTERボタンを押す
階層が何段階もある場合は、手順 ***3***、***4*** をくり返してファイルを選んでください。
1つ前の階層に戻るには、MENU（メニュー）/CLEAR（クリア）ボタンを押します。

5. ENTERボタンを押す
選んだファイルの再生が始まります。
CD►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押して、再生を始めることもできます。
フォルダー選択中にCD►/❚❚ボタンを押すと、フォルダーの最初のファイルを再生します。

オールフォルダーモードでファイルを選ぶ

ランダム再生モードになっているときは解除してください。（☞29ページ）

1. 停止中にFOLDERボタンを2秒以上押し続ける
「Root（ルート）」の表示が消えるまで押し続けてください。表示部に、最初のフォルダー名が表示されます。

2. ⏮/⏭ボタンを押して、フォルダーを選ぶ
ファイルの入っているフォルダーを選ぶことができます。
選んだフォルダーの最初のファイルから再生したいときは手順***4*** へ進んでください。

3. FOLDERボタンを押して、フォルダー内のファイルを選ぶ
フォルダー内の最初のファイルの名前が表示されるので、⏮/⏭ボタンを押して、再生したいファイルを選んでください。他のフォルダーを選びたいときは、FOLDERボタンをもう一度押し続けると手順***2*** からやり直すことができます。

4. ENTERボタンを押す
選んだファイルまたはフォルダーの再生が始まります。
CD►/❚❚ボタンを押して再生を始めることもできます。

！ヒント

- 再生中に他のフォルダーを選ぶには、FOLDERボタン、⏮/⏭ボタンを押して、再生したいフォルダーを選び、ENTERボタンを押します。そのフォルダーの最初のファイルが再生されます。
- 再生中、ENTERボタンを押すと次のフォルダーの1曲目に進み、MENU/CLEARボタンを押すと前のフォルダーの1曲目に戻ります。
- 再生中、本体のジョグダイヤルを押すと次のフォルダーの1曲目に進みます。

一時停止するには

CD►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す
再び再生を始めるには、同じボタンを押します。

ナビゲーションモードやオールフォルダーモードを解除するには

■（ストップ）ボタンを押す

数字ボタンでフォルダーやファイルを選ぶには

オールフォルダーモードのときに使用できます。
① FOLDERボタンを押した後、例のように数字ボタンでフォルダー番号を入力します。
停止中の場合は、そのフォルダー番号の最初のファイルの再生が始まります。
再生中の場合は、さらにENTERボタンを押します。そのフォルダー番号の最初のファイルにスキップします。
② 例のように数字ボタンでファイル番号を入力します。
そのファイル番号の再生が始まります。

例）10を超える番号を入力するとき

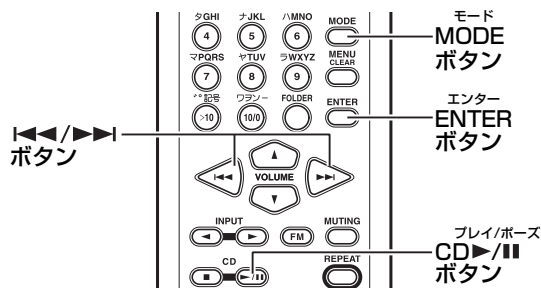
12：(>10)、(1)、(2)（最大の番号が99以下のとき）
(>10)、(10/0)、(1)、(2)（最大の番号が100以上のとき）
132：(>10)、(1)、(3)、(2)

CD（音楽CD、MP3、WMA）のいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生方法があります。

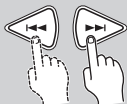
1フォルダー再生（リモコンのみ）

- 1つのフォルダー内の曲を再生します。

1 MODE

入力がCDで停止中

MODEボタンを(くり返し)押して「1 FOLDER」を表示させる

- 「1FOLDER」はMP3/WMAディスクのときのみ選択できます。

2

|◀◀/▶▶|ボタンでフォルダーを選ぶ

|◀◀/▶▶| ボタンを押して、再生したいフォルダーを選びます。

3

CD▶/IIボタンを押す

選んだフォルダーの最初のファイルの再生が始まります。そのフォルダー内の最後のファイルの再生が終わると停止します。

解除するには

- CDの再生を止めると解除されます。
- ☞29ページ「1フォルダー/メモリー再生を解除する」
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

メモリー再生（リモコンのみ）

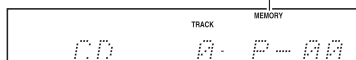
- 曲を指定し（25曲まで）、その順序で再生します。

1

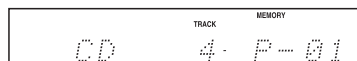
入力がCDで停止中

MODEボタンを(くり返し)押して「MEMORY」を表示させる

MEMORY表示点灯

2

ENTER

|◀◀/▶▶|ボタンを押して曲を選び、ENTERボタンを押して確定する

次の曲を選ぶときはこの手順をくり返します。

数字ボタンで曲を選ぶこともできます。(☞26ページ)

間違って予約した曲を取り消すには

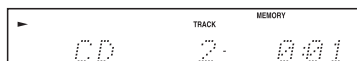
MENU/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後に入力したものから順に取り消されていきます。

！ヒント

予約時間の合計が99分59秒を超えると合計時間表示が「--:--」となりますが、再生に支障はありません。
26曲以上は予約できません。「Memory Full」と表示されます。

3

▶/IIボタンを押す

メモリー再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

予約した曲の中で選曲する

再生中に|◀◀/▶▶|ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

- メモリー再生モードの停止中に、MENU/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、予約した内容は消えます。

解除するには

- ☞29ページ「1フォルダー/メモリー再生を解除する」
- ディスクを取り出しても解除されます。

■ 1フォルダー /メモリー再生を解除する（リモコンのみ）

1

■ボタンを押して再生を止める

2

MODE

MODEボタンを(くり返し)押して「1FOLDER」、「MEMORY」のいずれも表示されていない状態にする

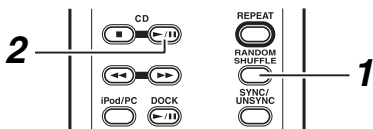
押すたびに表示が

と切り換わります。

- 「1 FOLDER」は MP3/WMA ディスクのときのみ選択できます。

ランダム再生（リモコンのみ）

- 曲順をランダムに並べかえて再生します。

1

入力がCDで停止中

RANDOM/SHUFFLEボタンを押して「RANDOM」を表示させる

RANDOM表示点灯

2

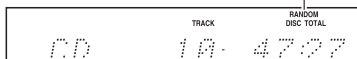
►/IIボタンを押す

ランダム再生が始まります。

解除するには

- ■ボタンを押して再生を止め、RANDOM/SHUFFLEボタンを押して「RANDOM」を消灯させせます。
- ディスクを取り出しても解除されます。

リピート/1TRリピート再生（リモコンのみ）

- リモコンで設定します。
- リピート再生はCDをくり返し再生します。
- 1TRリピート再生はCDの中の1曲をくり返し再生します。
- リピート再生は、1フォルダー再生、メモリー再生やランダム再生と組み合わせて使うこともできます。

リモコンのREPEATボタンを(くり返し)押して「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる

REPEATまたはREPEAT1表示点灯

リピートまたは1TRリピート再生モードになります。

■ リピート/1TRリピート再生を解除する（リモコンのみ）

リモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にする

MP3/WMAに関する設定をする（リモコンのみ）

MP3/WMAファイル情報の表示方法を選択したり、MP3/WMAディスクの再生方法などを設定することができます。

1

入力がCDで停止中

MENU/CLEARボタンを押した後、⏮/⏭ボタンをくり返し押して設定したい項目を選ぶ

⏮/⏭ボタンをくり返し押して設定したい項目を以下の中から選びます。

Disc Name?（ディスクネーム）
File Name?（ファイルネーム）
Folder Name?（フォルダーネーム）
CD Extra?（CD エクストラ）
Hide Number?（ハイドナンバー）
Folder Key?（フォルダーキー）

各項目の詳細については、右の「各設定について」をご覧ください。

2

ENTER

設定したい項目で、ENTERボタンを押す

3

⏮/⏭ボタンを押して設定したいモードを選ぶ

4

ENTERボタンを押す

「Complete」（完了）と表示された後、元の表示に戻ります。
途中で止めたいときは、MENU/CLEARボタンを押してください。

各設定について

Disc Name?（ディスク名）

MP3/WMAディスクのとき、ディスク名を表示するかどうかを設定します。お買い上げ時の設定はDisplayです。

Display：ディスク名を表示します。
Not Display：ディスク名を表示しません。（MP3またはWMAと表示されます。）

File Name?（ファイル名）

MP3/WMAディスクのとき、曲名をスクロール表示するかどうかを設定します。ただし、ナビゲーションモード時は、この設定に関わらず曲名がスクロールします。お買い上げ時の設定はScrollです。

Scroll：曲名をスクロール表示します。
Not Scroll：曲名をスクロール表示しません。

Folder Name?（フォルダー名）

MP3/WMAディスクのとき、フォルダー名をスクロール表示するかどうかを設定します。ただし、ナビゲーションモード時は、この設定に関わらずフォルダー名がスクロールします。お買い上げ時の設定はScrollです。

Scroll：フォルダー名をスクロール表示します。
Not Scroll：フォルダー名をスクロール表示しません。

CD Extra?

CD Extraディスクの再生について設定します。
お買い上げ時の設定はAudioです。

Audio：音楽データを再生します。
MP3/WMA：MP3またはWMAデータを再生します。

Hide Number?

曲名やフォルダー名の先頭に番号がついている場合、番号表示を隠すことができます。

お買い上げ時の設定はDisableです。

Disable：番号表示を隠す機能を無効にします。（番号は表示されたままです。）

Enable：番号表示を隠す機能を有効にします。（番号表示は無しになります。）

下表は、Disable/Enableを選んだときにどのように表示されるかの例です。

ファイルや フォルダーの名前	Disable を 選んだとき	Enable を 選んだとき
01 Pops	01 Pops	Pops
10-Rock	10-Rock	Rock
16_Jazz	16_Jazz	Jazz
21th Century	21th Century	21th Century
05-07-20 Album	05-07-20 Album	Album

Folder Key?

リモコンのFOLDERボタンを短く押したときと2秒以上押したときの動作を設定します。

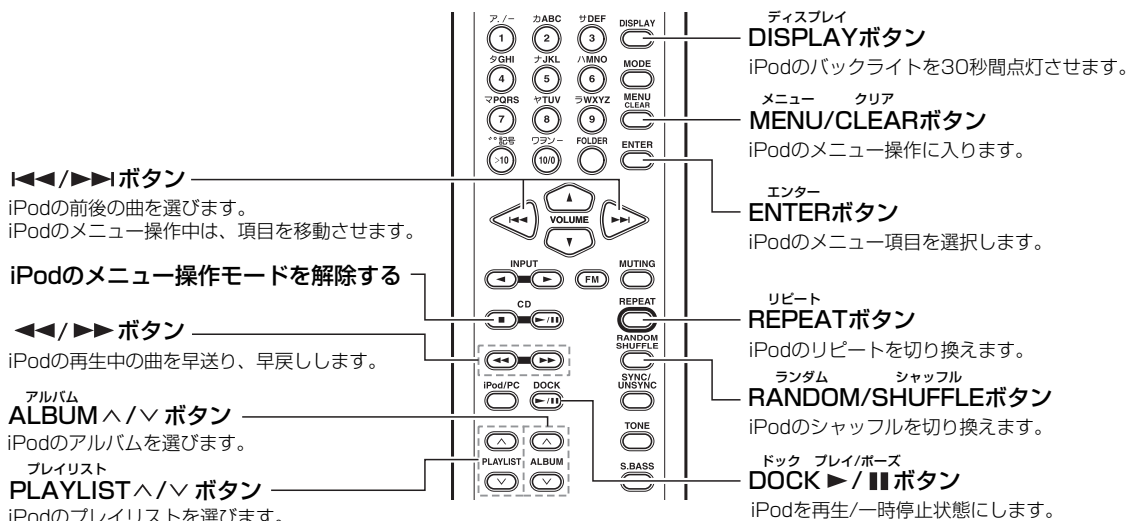
お買い上げ時の設定はNavigationです。

All Folder：FOLDERボタンを短く押したときはオールフォルダーモードになり、2秒以上押したときはナビゲーションモードになります。

Navigation：FOLDERボタンを短く押したときはナビゲーションモードになり、2秒以上押したときはオールフォルダーモードになります。

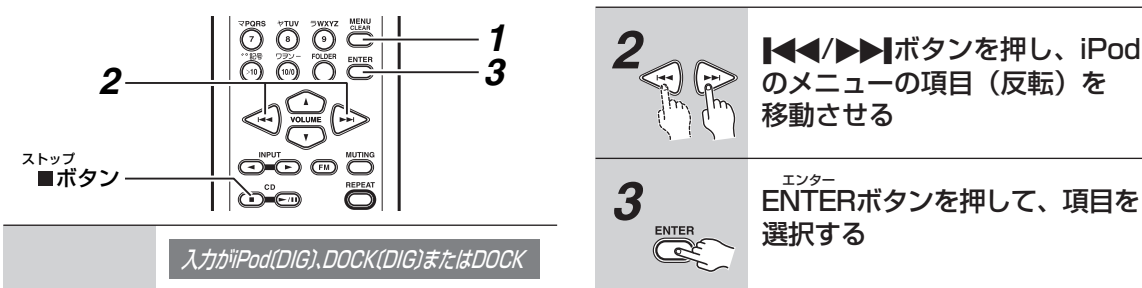
iPodを再生する

オンキヨー製のデジタルメディアトランスポートND-S1またはRIドックを接続したとき、本機の付属リモコンでiPodを操作することができます。ND-S1またはRIドックの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 接続した機器に合わせて、入力の表示名称を正しく設定する必要があります。(☞42 ページ)
- リモコンはCDレシーバーのリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- iPodの機種やソフトウェアのバージョンあるいは再生するコンテンツによっては、一部の機能が動作しないことがあります。
- プレイリストが選べないときは、iPodでいずれかのプレイリストを再生した後、PLAYLIST∧/∨ボタンを操作してください。
- アルバムを選ぶには、iPodを「アルバム」－「全曲」で再生した後、ALBUM∧/∨ボタンを操作してください。

iPodのメニュー操作（リモコンのみ）

1

入力がiPod(DIG)、DOCK(DIG)またはDOCK

MENU/CLEARボタンを押して、iPodにメニューを表示させる

さらに押すと、前のメニューに戻ります。このとき、本機のiPodまたはDOCK表示の右にドットが表示され、本機もメニュー操作モードに入ったことを示します。

＊ND-S1を接続すると、DOCK〔DIG〕表示がiPod〔DIG〕に切り換わります。iPod〔DIG〕とPC〔DIG〕の切り換えは、リモコンのiPod/PCボタンかND-S1上のボタンで切り換えてください。

2

◀◀/▶▶ボタンを押し、iPodのメニューの項目（反転）を移動させる

3

ENTER

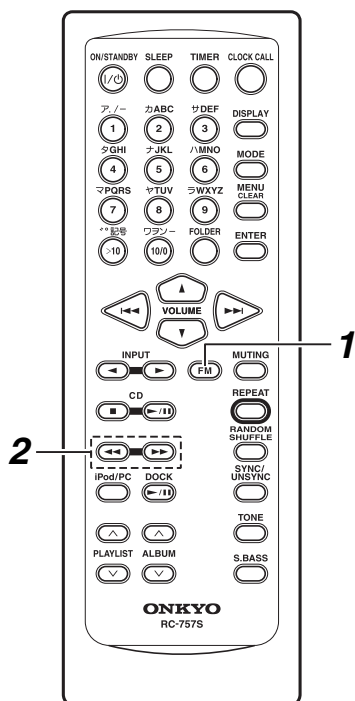
ENTERボタンを押して、項目を選択する

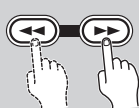
ご注意

iPodのメニュー項目の移動は、本機のiPodまたはDOCK表示の右にドットが表示されているとき（メニュー操作モード時）のみ可能で、この間は本来のスキップ動作ができません。
iPodが「再生中」画面に戻ってもドットがまだ点灯しているときは、ドットが消えるのを待つか、■ボタンを押してそのモードを解除してからスキップ動作を行ってください。
なお、本機でメニュー操作中にiPod側でも操作すると、本機のメニュー操作モードの認識にずれが生じますので、本機でのメニュー操作中はiPod側では操作しないでください。

使用上のご注意
音量は本機のVOLUME ▲/▼ボタンで調節します。iPod側で調節しても音量は変わりません。
上記のメニュー操作中、誤ってiPod側の音量を変えないように注意してください。

FM放送を聞く

周波数を合わせて聞く

1 リモコンのFMボタンを押す

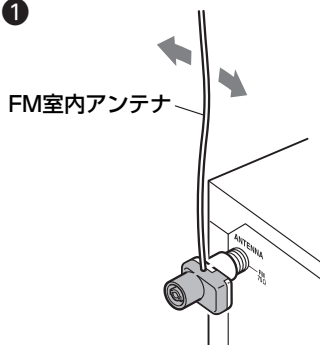
2 リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、表示部を見ながら周波数を合わせる

1回押すごとに周波数が0.1MHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。ボタンをしばらく押してから指を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局を受信すると自動的に停止します。

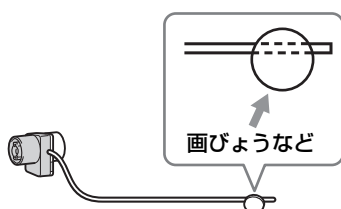
自動的に放送局をさがしている間は、▶　◀が点滅します。
放送局を受信するとチューンド表示（▶●◀）が点灯します。
FMステレオ局を受信すると、FM ST（エフエムステレオ）表示が点灯します。

アンテナを調整する

FM室内アンテナを調整して固定する

付属のFM室内アンテナは、たらしたり丸めたりしないでピンと張ってください。
FM放送を聞きながらFMアンテナを調整します。

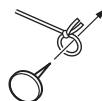
❶

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になる設置場所を見つけます。

❷

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止めます。

ご注意

画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

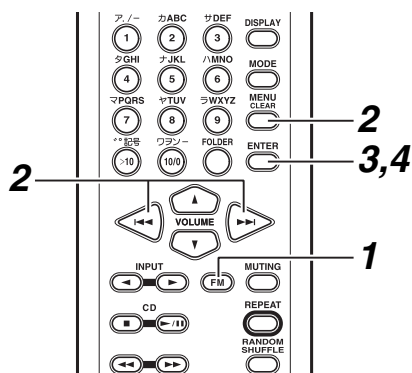
！ヒント

アンテナがはずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

放送局を登録して聞く

自動で登録する－オートプリセット－（リモコンのみ）

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局できます。受信から登録まで、自動（オート）で行えます。

ご注意

すでに放送局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録局はすべて消え、新たに登録されます。

操作の前に

電源を入れてください。

受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。（☞33ページ）

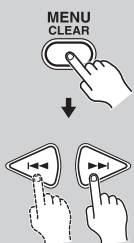
ご注意

受信環境によっては、放送局でないノイズなどが登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞38ページ）

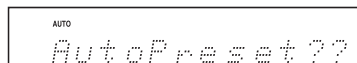
1

FMボタンを押して「FM」を表示させる

FM

2

MENU/CLEARボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「AutoPreset?」を表示させる

3

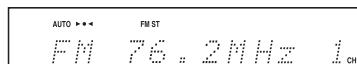
ENTERボタンを押す

AUTO
AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??」が表示されます。

中断するときはMENU/CLEARボタンを押してください。

4

ENTERボタンを押す

AUTO　FM ST
FM 76.2MHz 1 CH

オートプリセットが始まります。

周波数の低い順に自動的に放送局を登録していきます。

！ヒント

登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。　☞39ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。　☞38ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。　☞37ページ

1局ずつ登録する－プリセットライト－（リモコンのみ）

登録には、この方法と自動で登録する方法「オートプリセット」があります。

予備知識

- 40チャンネルまで登録できます。
- 1局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えばチャンネル2、5、9のように登録することができます。

1

放送局を受信する（☞33ページ）

2

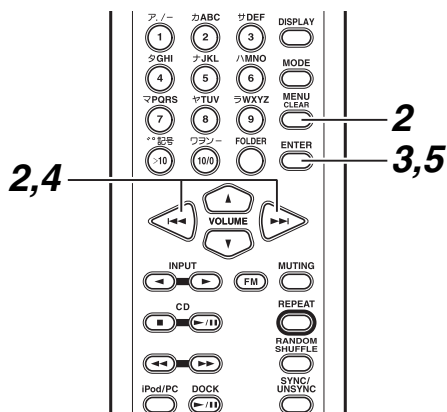
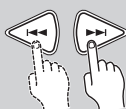
MENU/CLEARボタンを押した後、◀◀/▶▶ボタンを押して「Preset Write?」を表示させる

AUTO FM ST PresetWrite?

3

ENTERボタンを押す

AUTO FM ST FM 76.2MHz 1 CH

登録するチャンネルが点滅表示されます。
中断するときはMENU/CLEARボタンを押します。

4

別のチャンネルに登録するときは、◀◀/▶▶ボタンを押す

AUTO FM ST FM 76.2MHz 4 CH

5

ENTER

ENTERボタンを押して決定する

「Complete」（完了）と表示された後、放送局が選んだチャンネルに登録されます。

AUTO FM ST Complete

「Overwrite?」（上書きしますか？）と表示されたときは

AUTO FM ST Overwrite? 4 CH

ENTER

MENU CLEAR

選んだチャンネル番号は登録済みです。
- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、ENTERボタンを押します。
- 登録をやめるときは、MENU/CLEARボタンを押します。

6

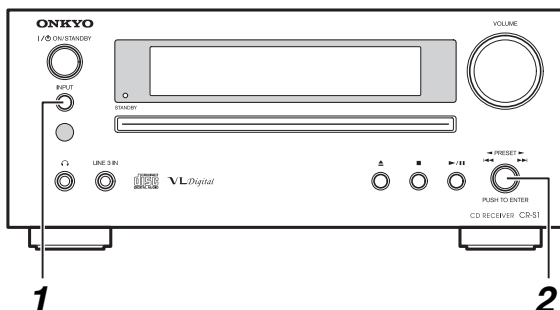
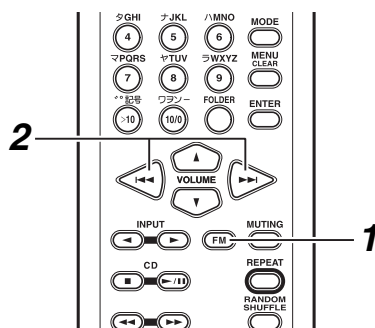
次の局を登録するときは、手順 *1～5* をくり返す

！ヒント

登録したあとにこんなこともできます。
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞39ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞38ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞37ページ

FM放送を聞く

登録した放送局を聞く　あらかじめ放送局を登録しておいてください。(☞34、35ページ)

■本体で操作する

■リモコンで操作する

1 INPUTボタンを押して「FM」を選ぶ

FM

2 ジョグダイヤルを回して登録した放送局を選ぶ

FM 89.9MHz 8CH

1 FMボタンを押す

INPUT◀/▶ボタンでも選ぶことができます。

2 ⏮/⏭ボタンを押して登録した放送局を選ぶ

!ヒント

数字ボタンでも選ぶことができます。

例） 登録番号	押すボタン
8	8
10	10/0
22	>10 2 2

表示部の情報を切り換える

リモコンのDISPLAYボタンを押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

FM周波数 ⟷ 放送局につけた名前

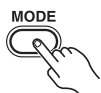
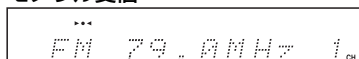
- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name」が表示され、周波数表示に戻ります。☞39ページ「登録した放送局に名前をつける」

FM放送を受信しにくいときは

AUTO（ステレオ）受信

AUTO FM ST FM 79.0MHz 1CH

モノラル受信

FM 79.0MHz 1CH

電波の弱い所や雑音の多い所では、リモコンのMODEボタンを押し、AUTO表示を消してモノラル受信にしてください。雑音や音切れを軽減できます。
AUTOに戻すときは、同じボタンを再度押します。
通常はAUTOにしておいてください。自動的にFMステレオ受信となります。

登録した放送局を編集する

削除とコピーの2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局を別のチャンネルにコピー、チャンネル番号の変更などができます。

編集のヒント

チャンネル番号を変更するには

コピーと削除機能を使います。
例えば、4チャンネルに登録された放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷ 4チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

登録した放送局をコピーする（リモコンのみ）

登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞39ページ）も同時にコピーされます。

1 コピーするチャンネルを呼び出す

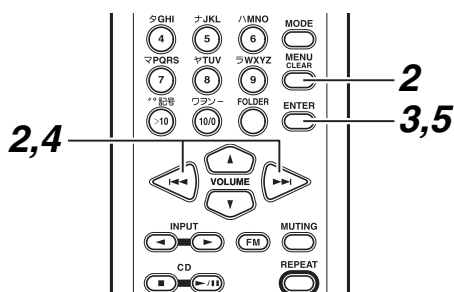
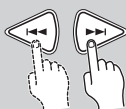
例）4CH、FM80.0MHzを選んだとき

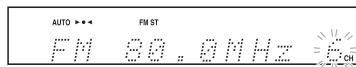
FM 80.0MHz 4CH

2 MENU/CLEARボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Preset Copy?」を表示させる

Preset Copy?

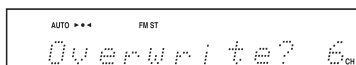
3 ENTERボタンを押す

チャンネル表示が点滅します。

4 |◀◀/▶▶|ボタンを押してコピー先のチャンネルを選ぶ

FM 80.0MHz 6CH

5 ENTERボタンを押す

「Complete」（完了）と表示された後、放送局が指定のチャンネルにコピーされます。

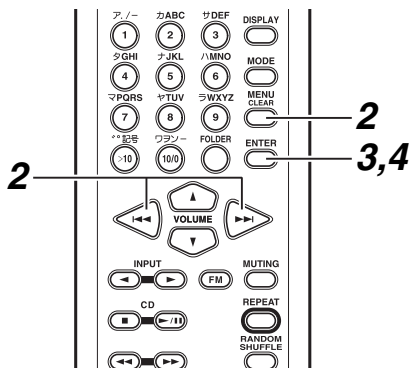
「Overwrite?」（上書きしますか?）と表示されたときは

Overwrite? 6CH

選んだチャンネルは登録済みです。

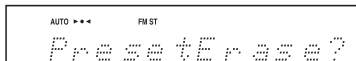
- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、ENTERボタンを押します。
- 書き換えをやめるときは、MENU/CLEARボタンを押します。

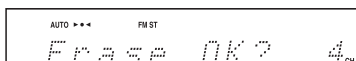
登録した放送局を編集する

登録した放送局を削除する（リモコンのみ）

1
削除するチャンネルを呼び出す

例）4CH、FM80.0MHzを選んだとき

2
MENU/CLEARボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Preset Erase?」を表示させる

AUTO FM ST
PresetErase?

3
ENTERボタンを押す

再確認のメッセージが表示されます。

削除をやめるときは、MENU/CLEARボタンを押します。

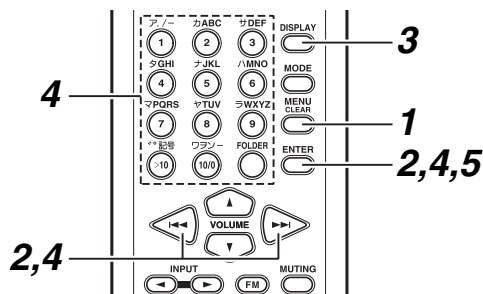
4
ENTERボタンを押す

「Complete」（完了）と表示された後、登録した放送局が削除されます。

登録した放送局に名前をつける

登録したチャンネルに、放送局名などをアルファベットやカタカナでつけることができます。
リモコンで操作します。

登録した放送局に名前をつける（リモコンのみ）

あらかじめ名前をつけたい放送局を登録しておいてください。（☞34、35ページ）

1 MENU/CLEARボタンを押す

MENU
CLEAR

2 ◀◀/▶▶ボタンで「Name In?」を選び、ENTERボタンを押す

ENTER

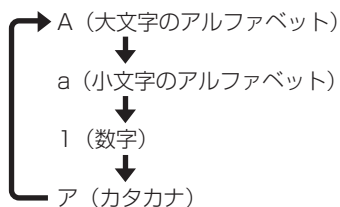
選ばれている文字の種類

3 DISPLAYボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

DISPLAY

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。

4 文字・数字ボタンや◀◀/▶▶ボタンで文字を入力する

または

ENTER

1つのボタンに複数の文字が割り当てられていますので、ボタンを数回押して文字を選びます。各ボタンの文字の割り当ては文字入力用ボタン一覧（☞40ページ）をご覧ください。

例：「NHK-FM」と入力するとき
⑥(2回)▶④(2回)▶⑤(2回)▶①(3回)▶③(3回)▶⑥(1回)

例：「FMヨコハマ」と入力するとき
③(3回)▶⑥(1回)
DISPLAYボタンを押して文字種を「ア」にする
⑧(3回)▶②(5回)▶⑥(1回)▶⑦(1回)

例：「μFM」と入力するとき
◀◀(9回)▶③(3回)▶⑥(1回)

■ 濁点「゛」や半濁点「゜」を入力する
文字種が「ア」のとき、＞10ボタンを1回または2回押します。

■ 文字を削除する
MENU/CLEARボタンを押します。カーソル位置の文字が消えます。カーソル以降に文字がないときは、カーソルの左側の文字が消えます。

■ スペース（空白）を入力する
FOLDERボタンを押します。

■ 同じボタンの文字を続けて入力する
INPUT▶ボタンを押してカーソルを移動させ、次の文字を入力します。

■ 文字を挿入する
INPUT◀/▶ボタンでカーソルを移動させ、文字を入力します。カーソル位置の左側に文字が挿入されます。

ご注意
- 入力できる文字数は最大10文字です。10文字を超えて入力しようとすると、「Full」と表示されます。
- 「ア゛」のように通常「゛」「゜」がつかない文字は、確定したときに「ア」と修正されます。

5 ENTERボタンを押す

ENTER

文字が確定し、「Complete」と表示された後、元の表示に戻ります。

ご注意
文字入力を中断する場合は、MENU/CLEARボタンを2秒以上押し続けてください。それまでの文字入力は取り消され、元の表示に戻ります。

登録した放送局に名前をつける

文字入力用ボタン一覧

␣は空白を表します。

ボタン	A（大文字のアルファベット）	a（小文字のアルファベット）	1（数字）	ア（カタカナ）
ア.／ー 1	.／ー1	.／ー1	1	アイウエオァィゥェォ1
カABC 2	ABC2	abc2	2	カキクケコ2
サDEF 3	DEF3	def3	3	サシスセソ3
タGHI 4	GHI4	ghi4	4	タチツテトッ4
ナJKL 5	JKL5	jkl5	5	ナニヌネノ5
ハMNO 6	MNO6	mno6	6	ハヒフヘホ6
マPQRS 7	PQRS7	pqrs7	7	マミムメモ7
ヤTUV 8	TUV8	tuv8	8	ヤユヨャュョ8
ラWXYZ 9	WXYZ9	wxyz9	9	ラリルレロ9
ワヲンー 10/0	0	0	0	ワヲンー0
FOLDER	␣	␣	␣	␣
⏮ ⏭	下記参照	下記参照	下記参照	下記参照

⏮ ⏭ボタンで次の記号を選ぶことができます。（゛ ゜ はカタカナ入力のときのみ）

゛ ゜ ，．’：－＆（ ）〔 〕＜＞＿ ；＠＃￥＄％！？＋＊／＝～αμ²³”・ 、。␣

文字を編集する

❶ MENU/CLEARボタンを押す

❷ ⏮/⏭ボタンで「Name In?」を選び、ENTERボタンを押す

❸ INPUT◀/▶ボタンを押してカーソルを移動させ、文字を編集する

MENU/CLEARボタンを押すとカーソル位置の文字を削除できます。
文字を入力するとカーソル位置の左側に挿入されます。
スペース（空白）を入力するときは、FOLDERボタンを押します。

❹ ENTER ボタンを押す

文字が確定し、「Complete」と表示された後、元の表示に戻ります。

ご注意

文字編集を中断する場合は、MENU/CLEARボタンを2秒以上押し続けてください。それまでの文字編集は取り消され、元の表示に戻ります。

放送局につけた名前を消去する

❶ 名前を消去する放送局を選ぶ

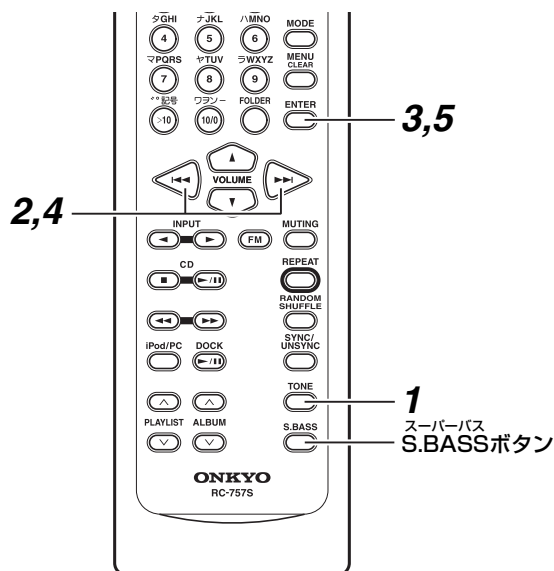
❷ MENU/CLEARボタンを押す

❸ ⏮/⏭ボタンで「Name Erase?」を選び、ENTERボタンを押す

名前が消去され「Complete」と表示された後、周波数表示に戻ります。

音質を調整する

低音/高音を調整する

1

TONE

TONEボタンを押して「Bass」を表示させる

2

⏮/⏭ボタンを押して低音を調整する

－3～＋3の範囲で調整できます。

3

ENTER

ENTERボタンを押して「Treble」表示にする

4

⏮/⏭ボタンを押して高音を調整する

－3～＋3の範囲で調整できます。

5

ENTERボタンを押す

調整が終了し、元の表示に戻ります。

！ヒント

高音のみを調整するときは、TONEボタンを2回押した後、手順***4***から操作してください。

重低音を強調する

S.BASSボタンを押す

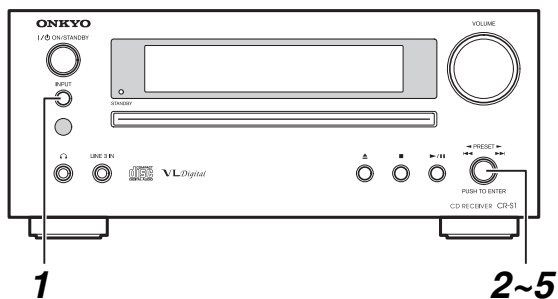
ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

S.BASS 機能が働いているときは、S.BASS インジケーターが点灯します。お買い上げ時の設定は「S.Bass 1」になっています。

入力の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、電源連動やタイマー動作などのシステム動作を行わせるために入力の表示名称を正しく設定する必要があります。また、あらかじめいくつかの表示名称が用意されていますので、接続した機器に合わせてご利用ください。

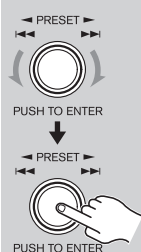
本体で操作します

1

INPUTボタンを（くり返し）押して「名称を変更する入力」を選ぶ

CD、FM以外の入力を選びます。
CD、FMの名称は変更できません。

2

ジョグダイヤルを2秒以上押す

3

ジョグダイヤルを回して「Name Select?」を選びジョグダイヤルを押す

名称が点滅します。

4

ジョグダイヤルを回して名称を選ぶ

選んだ入力により名称が次のように切り換わります。太字がお買い上げ時の設定です。

※1 **********は任意に入力された名称（☞43ページ）です。任意の名称が入力されている場合のみ選択できます。
※2 ND-S1と接続しているときは、DOCK〔DIG〕に設定後ND-S1のiPod/PC切り換えなどを行うと、自動的にiPod〔DIG〕またはPC〔DIG〕に表示が切り換わります。

ご注意

DOCK〔DIG〕とDOCKを同時に設定することはできません。同時に設定しようとすると、他方がDOCK〔DIG〕ならDIGITAL2に、DOCKならLINE2に自動的に切り換わります。

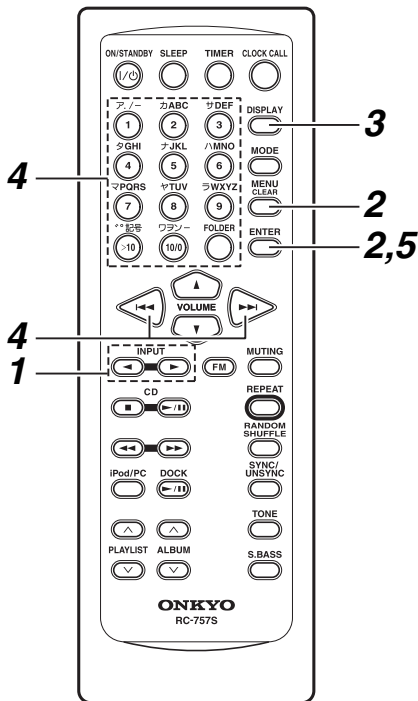
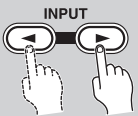
5

ジョグダイヤルを押して決定する

「Complete」と表示された後、元の表示に戻ります。

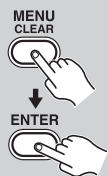
表示名称を任意に変更する（リモコンのみ）

CD、FM以外の入力の表示名称を任意に変更することができます。

1

INPUT

INPUT◀/▶ボタンを（くり返し）押して「名称を変更する入力」を選ぶ

CD、FM以外の入力を選びます。
CD、FM の名称は変更できません。
なお、DOCK〔DIG〕（ND-S1接続時はiPod〔DIG〕またはPC〔DIG〕）のときは、名称を変更できません。
あらかじめ、42ページを参照してDOCK〔DIG〕以外の名称に変えてから、この操作を行ってください。

2

MENU/CLEARボタンを押す

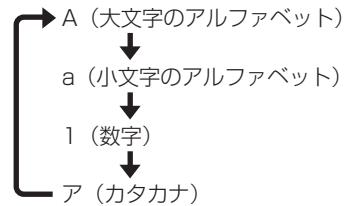
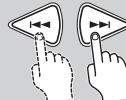
「Name In?」が表示されるので、ENTERボタンを押します。

選ばれている文字の種類

3

DISPLAYボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。

4

文字・数字ボタンや⏮/⏭ボタンで文字を入力する

1つのボタンに複数の文字が割り当てられていますので、ボタンを数回押して文字を選びます。各ボタンの文字の割り当ては文字入力用ボタン一覧（☞40ページ）をご覧ください。
最大10文字まで入力できます。

例：「MDレコーダー」と入力するとき

ハMNO 6（1回）▶ サDEF 3（1回）

DISPLAYボタンを押して文字種を「ア」にする

ラWXYZ 9（4回）▶ カABC 2（5回）▶ ワヲンー 10/0（4回）▶ タGHI 4（1回）
▶ ゛゜記号 >10（1回）▶ ワヲンー 10/0（4回）

文字の削除、スペース（空白）の入力、カーソル移動などは、39ページの手順 ***4*** を参照してください。

5

ENTERボタンを押す

文字が確定し、「Complete」と表示された後、入力した名称に変わります。

- 文字入力を中断する場合は、MENU/CLEARボタンを2秒以上押し続けてください。それまでの文字入力は取り消され元の表示に戻ります。
- 文字を編集する場合は、「文字を編集する」（☞40ページ）を参照してください。
- 入力した名称を消去したい場合は、すべての文字を削除してください。42ページの手順***4*** の左上の名称に戻ります。
- 任意の名称に変更した場合は、システム連動は働きません。

時計を設定する

12時間表示と24時間表示が選べますが、本書では24時間表示で説明しています。

1

TIMER

ENTER

TIMERボタンを数回押して「Clock」を選び、ENTERボタンを押す

Clock

時計が設定されていないときは、「Clock」しか選択できません。

2

ENTER

|◀◀/▶▶|ボタンを押して曜日を選び、ENTERボタンを押す

SUN 000

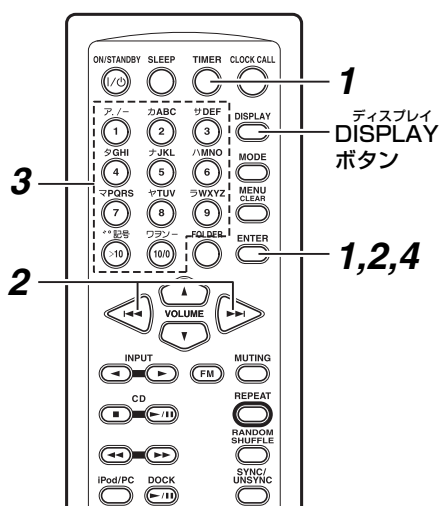
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

3

数字ボタンを押して時刻を入力する

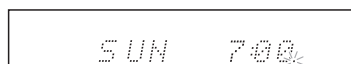
SUN 700

時分を4桁の数字で入力してください。
例：7時00分　(10/0)、(7)、(10/0)、(10/0)

- |◀◀/▶▶|ボタンでも時刻を合わせることができます。
- DISPLAYボタンを押すと、12時間/24時間表示を切り換えることができます。
- 12時間表示のときは、>10ボタンでam/pmを切り換えます。

4

ENTER

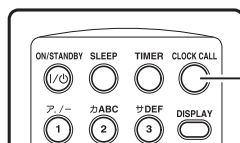
時報に合わせてENTERボタンを押す

SUN 700

時計が動作を開始し、秒を示すドットが点滅します。

！ヒント

時計の設定を中断するときは、TIMERボタンを押してください。

時計を表示させる

リモコンのCLOCK CALLボタンを押します。
再度CLOCK CALLボタンを押すか、表示を切り換えると時計表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間時計を表示した後、消灯します。

12時間表示/24時間表示を切り換えるには

CLOCK CALLボタンを押して時計を表示させている間に、DISPLAYボタンを押します。

STANDBY時の時計表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のON/STANDBYボタンを2秒以上押します。

ご注意

- スタンバイ状態中の時計表示には、曜日は表示されません。
- 時計表示を「あり」にすると、「なし」のときより待機電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleepタイマー、Onceタイマー、Everyタイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類の設定

- タイマー Play（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマー Rec（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
  タイマーRecは本機に接続したRI端子付きのオンキヨー製カセットテープデッキやMDレコーダーに録音します。

再生機器の設定

タイマーで再生する機器を選択します。
タイマー Rec（録音）のときは、CD以外（録音機器は除く）から選択できます。
なお、外部機器はオンキヨー製のデジタルメディアトランスポートND-S1、RIドック、カセットテープデッキまたはMDレコーダーを所定の接続をしたときのみ、タイマー動作が可能です。

曜日の設定

タイマーは1回だけ働く「Onceタイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Everyタイマー」があります。
また、Everyタイマーは「Everyday（毎日）」、あるいは「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など連続した曜日を自由に設定することもできます。

例）
Timer 1　毎朝の目覚ましがわりに
タイマー Play（再生）—Every—Everyday（毎日）—7:00〜7:30

Timer 2　毎週月曜から土曜のラジオ放送を録音
タイマー Rec（録音）—Every—MON（月曜日）〜SAT（土曜日）—15:10〜15:30

Timer 3　今週の日曜だけラジオ放送を録音
タイマー Rec（録音）—Once—SUN（日曜日）—10:00〜12:00

ご注意

- タイマー再生中や録音中に、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマー予約をするときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。

タイマー表示について

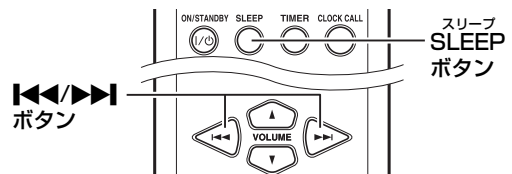
タイマーが1つでも設定されていると、TIMER表示が点灯し、そのタイマー番号が点灯します。
␣ が点灯している番号には、タイマー Recが設定されています。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

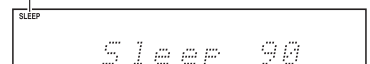
- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合は、タイマー番号が小さい方が優先されます。

Timer 1　9：00 – 10：00
Timer 2　8：00 – 10：00
　↑ 優先(タイマー開始時刻が早い)
Timer 3　12：00 – 13：00
　↑ 優先（タイマー番号が小さい）
Timer 4　12：00 – 12：30

Sleepタイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的に本機をスタンバイ状態にします。

SLEEPボタンを押す

SLEEP表示が点灯し、「Sleep 90」と表示され、90分後に電源がスタンバイ状態になります。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。

SLEEP表示点灯

1分単位で時間を設定したいときは、スリープタイマー時間が表示されている間に⏮/⏭ボタンで設定します。1〜99分の範囲で設定することができます。
設定した時間が約8秒間表示された後、元の表示に戻ります。

残り時間を確認するには

SLEEPボタンを押すと、電源がスタンバイ状態になるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すと、SLEEPタイマーは解除されます。

Sleepタイマーを解除するには

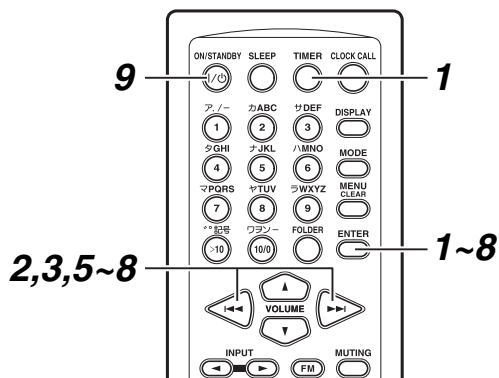
「Sleep Off」の表示が出るまでSLEEPボタンをくり返し押します。

タイマー機能を使う

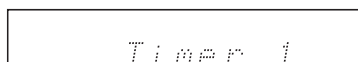
タイマーを予約する

FMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。(☞34、35ページ)

ご注意

- 時計が設定されていないと、タイマー予約はできません。
- 設定中 60 秒間何も操作しないと元の表示に戻ります。

リモコンのみの操作です

1

<タイマー番号の選択>

Timer 1

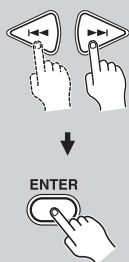
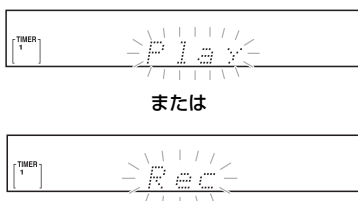
TIMERボタンを(くり返し)押して設定するタイマー番号を選ぶ

Timer 1からTimer 4のいずれかを選び、ENTERボタンを押します。

「Clock」しか表示されない場合は、時計が設定されていませんので、まず時計を設定してください。(☞44ページ)

2

<タイマー種類の選択>

または

⏮/⏭ボタンを押してタイマー Play(再生)またはタイマー Rec(録音)を選ぶ

タイマーの種類が表示されたらENTERボタンを押します。タイマー Recは本機にRI接続しているカセットテープデッキまたはMDレコーダーに録音されます。

ご注意

タイマー Recは、LINE1の表示名称を「TAPE」または「MD」に設定している場合のみ選択できます。

3

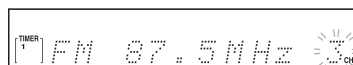
<再生機器の選択>

⏮/⏭ボタンを押して再生する機器を選ぶ

再生する機器が表示されたらENTERボタンを押します。タイマー Rec(録音)のときは、CD以外(録音機器は除く)から選べます。

FMを選んだ場合

⏮/⏭ボタンを押して再生するプリセットチャンネルを選ぶ

希望のプリセットチャンネルが表示されたらENTERボタンを押します。

ご注意

タイマー Recのとき、再生機器にFM以外を選んだ場合、その機器(iPodを含む)は再生状態になりません。このときは、入力がその位置になり録音機器が録音状態になるだけです。その入力にCSチューナーなどをつなぎ、その機器のタイマーと併用することにより、CSチューナーなどを録音機器にタイマー録音することができます。

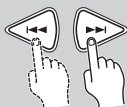
4

＜録音機器の確認＞（タイマー Rec（レック）設定時のみ）

録音する機器が表示されるので、確認して ENTER（エンター）ボタンを押す

ご注意

本機の録音出力はアナログしかありませんので、MDレコーダーに録音する場合は、必ずオーディオ用ピンコードで接続し、MDレコーダーの入力をANALOG（アナログ）に切り換えてください。

5

＜曜日の設定＞

|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Once（ワンス）」または「Every（エブリー）」を選ぶ

「Once」を選ぶと一度だけ、「Every」を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだらENTERボタンを押します。

「Once」の場合：設定した曜日に一度だけ働きます。

|◀◀/▶▶|ボタンを押して曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

「Every」の場合：設定した曜日に毎週働きます。

|◀◀/▶▶|ボタンを押して曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

「Days Set（デイズ セット）」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。

① **|◀◀/▶▶|ボタンを押して最初の曜日を選ぶ**

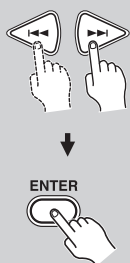
希望の曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

② **|◀◀/▶▶|ボタンを押して最後の曜日を選ぶ**

希望の曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

この場合、毎週火曜から土曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

タイマー機能を使う

6

ENTER

＜開始時刻の設定＞

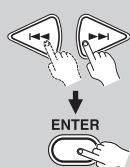
⏮/⏭ボタンを押してタイマー開始時刻を設定する

希望の時刻を表示させたらENTERボタンを押します。
リモコンの数字ボタンでも設定できます。
7：29を設定するには、7、2、9と押します。

- am/pm表示のときは、＞10ボタンでamとpmが切り換わります。

！ヒント

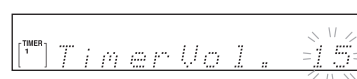
開始時刻（On）を変更すると、終了時刻（Off）は自動的にその1時間後になります。

7

＜終了時刻の設定＞

⏮/⏭ボタンを押してタイマー終了時刻を設定する

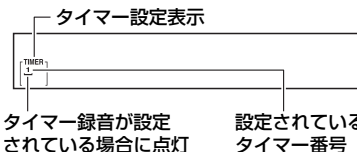
希望の時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

8

＜音量の設定＞

⏮/⏭ボタンを押してタイマーによる再生時の音量を設定する

設定する音量を表示させたら、ENTERボタンを押します。
音量は、Mut（タイマー Recのみ）、Lst、1、2、3…40、41、Maxと設定できます。
お買い上げ時の設定は、タイマー Playは15、タイマー RecはMutです。
Lst、Mutの動作は次の通りです。

Lst：最後に聞いた音量（スタンバイ状態にしたときの音量）になります。
Mut：MUTING機能が働いて音が消えます。MUTINGを解除すれば最後に聞いた音量になります。

9

＜スタンバイ状態にする＞

電源をスタンバイ状態にする

ON/STANDBYボタンを押して本機の電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

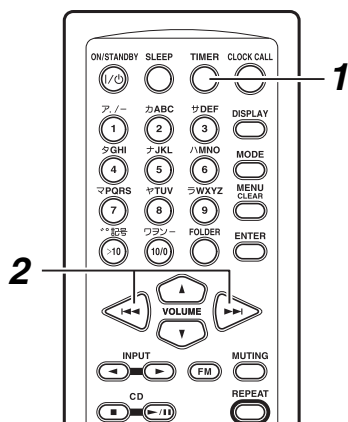
- 電源がオン状態のときは、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させるときには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMERボタンを押すと、動作中のタイマーは解除されます。
- お買い上げ時の設定では、タイマー Rec（録音）中はMUTING機能が働いて音が消えます。音声を聞くには、リモコンのMUTINGボタンを押してください。または、タイマー Recの音量設定（手順**8**）で適当な音量に設定してください。

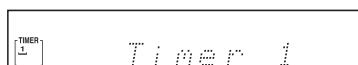
タイマー予約をやり直したいときは…

MENU/CLEARボタンを押し、最初から設定してください。

タイマーのOn(実行)/Off(取消)を切り換える

● 予約したタイマーの実行を取り消したり、タイマーを再び実行させることができます。

1

TIMER

TIMERボタンを（くり返し）押して設定するタイマー番号を表示させる

Timer 1

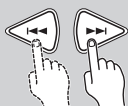
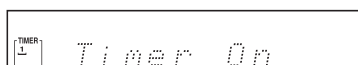
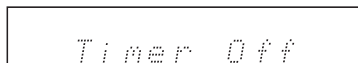
タイマー番号が点灯していたら､オン（実行）状態です。

2

|◀◀/▶▶|ボタンを押してOn(実行)/Off(取消)を切り換える

Timer On

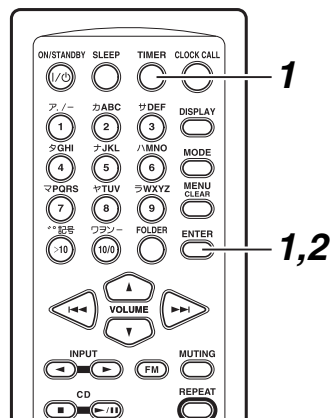
または

Timer Off

切り換えると約2秒後に元の表示に戻ります。

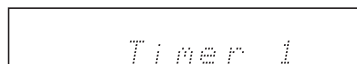
！ヒント

停電すると時計が止まり、すべてのタイマーが「オフ」になりますが、タイマーの内容は記憶されています。
時計を合わせた後、再びタイマーを「オン」に設定できます。

タイマー設定の内容を確認するには

1

TIMER

ENTER

TIMERボタンを(くり返し)押して確認したいタイマーの番号を表示させ、ENTERボタンを押す

Timer 1

2

ENTER

ENTERボタンを（くり返し)押して内容を確認する

Rec

押すたびに現在設定されている内容を順に確認できます。

！ヒント

確認中、|◀◀/▶▶|ボタンを押して設定内容を変更することもできます。
TIMER設定がOffになっている場合、設定内容を変更して最後まで確認すると自動的にタイマー設定がOnになります。
すべての項目を確認してしばらくすると、元の表示に戻ります。
確認を途中でやめるときは、MENU/CLEARボタンを押します。

困ったときは

下表でチェックしてみてください。本機以外の原因も考えられます。接続した機器の取扱説明書もご確認ください。

■ すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

1.本機をスタンバイ状態にした後、電源コードをコンセントから抜きます。

2.本体のON/STANDBYボタンを押しながら、電源コードをコンセントに差し込みます。

表示部に「RESET」と表示された後、スタンバイ状態になります。

音質に関して

- 電源プラグの差し込む向き（極性）を変えると音が良くなることがあります。
- 電源投入後10～30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

	症　状	確　認・処　置	参照ページ
共通	電源が入らない	• 電源コードが外れていませんか？　電源プラグや背面のAC INLETを確認してください。 • 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。	22
共通	電源が切れる	• スリープタイマーが働いていませんか？　タイマー再生、録音が終了して電源が切れたのではありませんか？　不要なタイマーは解除してください。 • STANDBYインジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いています。通風孔をふさいだりして放熱を妨げていませんか？　本体がかなり熱くなっているときは、放熱をよくし、十分冷えるのを待ってから電源を入れてみてください。再び電源が切れるときは、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。	45、49
共通	音が出ない	• スピーカーが正しく接続されていますか？ • 入力切換は正しいですか？　聞くソースに正しく切り換えてください。 • 音量が小さすぎませんか？　音量を上げてください。 • VOLUMEやMUTINGインジケーターが点滅している場合はミューティングが働いています。解除してください。 • ヘッドホンが接続されていると、スピーカーからは音が出ません。ヘッドホンを外してください。	17 23 24 24 24
共通	音が良くない 雑音が入る	• スピーカーの⊕⊖、左右が正しく接続されているか確認してください。 • ピンコードのプラグは奥までしっかり差し込んでください。 • テレビなど強い磁気を帯びたものの影響を受けることがあります。本機と距離を離してください。 • 携帯電話を本機の近くで使用するとノイズが出ることがあります。 • 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中にCDを読み取る音が聞こえることがあります。	17 19
共通	ヘッドホンから音が出ない ヘッドホンからノイズが出る	• ヘッドホンケーブルが断線していませんか？　確認してください。 • ヘッドホンプラグやヘッドホン端子を清掃してください。清掃方法は、ヘッドホンの取扱説明書を参照してください。	
CD	ディスクが入らない	• すでにディスクが入っていませんか？　►/❚❚ボタンあるいは⏏ボタンを押してみてください。	25
CD	ディスクが入っているのに再生できない	• ディスクのラベル面を上にして入れていますか？ • ディスクに大きな傷はありませんか？　ひどく汚れていませんか？ • 本機が対応しているMP3/WMAフォーマットか確認してください。 • 「No Disc」と表示されるときは、⏏ボタンを3秒以上押してディスクを取り出した後、あらためてディスクを入れてみてください。 • 結露していると思われる場合は、電源コードを抜き、約1時間放置した後に電源コードを差して操作してください。	25 9 9 25 10
CD	再生が始まるまでに時間がかかる	• 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。 • スタンバイ状態や入力がCD以外のときに►/❚❚ボタンを押したときは、CDを読み込んでから再生に入ります。	

困ったときは

	症　状	確 認・処 置	参照ページ
CD	音が飛ぶ	• ディスクに大きな傷や汚れがありませんか？　汚れはふき取ってください。 • 本機が対応しているMP3/WMAフォーマットか確認してください。 • 本機に振動が加わっていると音飛びすることがあります。振動の少ない場所に設置してください。	9 9
	ディスクの曲順通りに再生できない	• リピート再生、メモリー再生、ランダム再生などの再生モードを解除してください。	28、29
	再生できないファイルがある	• 本機が対応しているMP3/WMAフォーマットか確認してください。 • フォルダー（ルートを含む）が99を超える場合、またフォルダー（ルートを含む）とファイルの合計が499を超える場合は、それらのフォルダー、ファイルは認識・再生できません。	9 9
	ディスクが取り出せない	• ▲ボタンを3秒以上押し続けてください。 • 「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を行った後、電源を入れ、その後▲（イジェクト）ボタンを押してください。	25 50
	複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生	• コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは特殊ディスクのため、本機で正常に再生できない場合があります。	9
FM	放送が受信できない 放送に雑音が入る FMステレオ放送のとき、「サー」というノイズが多い FMステレオ放送のとき、「FM ST」表示がついたり消えたりする	• アンテナがきちんと接続されていますか？　また、アンテナの位置や方向を変えてみてください。 • テレビやコンピューターから離してください。 • アンテナをACアダプター、ドック、iPodなどから離してください。また、他のケーブル類からも離してください。 • 鉄筋の建物の中などは電波が遮断されるため、受信しにくくなります。アンテナを窓際に設置してください。 • FMモードをモノラルに切り換えてみてください。 • それでも受信状態がよくないときは、市販の室内アンテナまたは屋外アンテナの設置をおすすめします。 • ケーブルテレビをご覧の方は、FM受信ができないか、ケーブルテレビ会社へ問い合わせてみてください。	18、33 36 18 18
	周波数を合わせられない	• リモコンの◀◀/▶▶ボタンで周波数を合わせてください。	33
リモコン	リモコンで操作できない	• 電池の向き（⊕⊖）は正しいですか？ • 電池を2本とも新しいものに交換してください。 • 本機のリモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の光が入っていませんか？ • 操作可能な距離、角度の範囲内で操作してください。	11 11 11 11
	iPodのリモコン操作ができない	• 本機とドックの接続、入力の表示名称の設定を確認してください。 • ND-S1の場合は、iPod/PC切換をiPodにしてください。 • ドックの設定は正しいですか？　ドックに対応したiPodですか？ドックの取扱説明書を確認してください。	19、42 15
	iPod/PCボタンが働かない	• ND-S1を接続し、DIGITAL2（デジタル）の表示名称をDOCK（ドック） [DIG]（デジタル）に設定したときのみ働きます。	19、42
	オンキヨー製カセットテープデッキやMDレコーダーをリモコン操作できない	• 本機では、ND-S1やRIドック以外の外部機器のリモコン操作はできません。	
外部機器	RI端子付きオンキヨー製機器と連動しない	• RIケーブルだけでなく、オーディオ用ピンコード（ND-S1は除く）も正しく接続されていますか？ • 入力の表示名称を正しく設定してください。 • 入力の表示名称を任意に変更した場合は、システム連動させることはできません。	19、20 42 43
	デジタルオーディオプレーヤーの音が小さい	• デジタルオーディオプレーヤー側の音量を上げてください。 • 接続ケーブルは「抵抗なし」のものをお使いください。	21
	デジタル入力の音が出ない	• オーディオ用光デジタルケーブルが折れ曲がったり損傷していませんか？ • 本機はPCM信号にしか対応していません。接続した機器のデジタル音声出力をPCMに設定してください。	21
	レコードプレーヤーの音が小さい	• フォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーか確認してください。内蔵していない場合は、別途フォノイコライザーが必要です。 • MCカートリッジをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。	20

困ったときは

	症　　状	確　認・処　置	参照ページ
時計・タイマー	タイマー再生・録音しない	• 時計は正しく設定されていますか？ • タイマー開始前に電源をスタンバイ状態にしていますか？　電源がオン状態のままでは、タイマーは動作しません。 • タイマーの予約時間が重なっていると、優先度の高いタイマーしか動作しません。タイマーの予約時間は重ならないように設定してください。または、不要なタイマーは取り消してください。 • オンキヨー製外部機器をタイマー動作させるには、RIケーブルだけでなく、オーディオ用ピンコード（ND-S1は除く）の接続も必要です。また、表示名称を正しく設定してください。 • タイマー録音するには、録音機器側に録音可能なカセットテープやMDをセットしておく必要があります。	44 48 45、49 19、20、42
	スタンバイ状態で時計が表示されない	• スタンバイ時の時計表示を「あり」に設定してください。	44
	時計が「－－：－－」表示になった	• 停電になり、時計が停止しました。すべてのタイマーが「オフ」になっていますので、あらためて時計を設定し直し、必要なタイマーを「オン」に設定してください。	49
その他	電源コードをコンセントに差し込んだとき、「RESET（リセット）」と表示される	• 長期間電源コードが抜かれていたため、メモリー内容がリセットされ、すべてお買い上げ時の設定に戻りました。あらためて必要な設定を行ってください。	
	停電になったり、電源プラグを抜いたとき	• メモリーは通常約1週間は保持されます。もしメモリーの内容が消えた場合は、放送局を登録し直したり、入力の表示名称などを再設定してください。	
	電源コードをコンセントに差し込むと、電源が入る	• 電源オン状態で電源コードを抜くと、次に電源コードを差したときは電源オンになります。 電源オン状態で停電したときは、電源コードを抜いてください。	

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大切な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのようなときは、電源プラグを抜いて10秒以上待ってからあらためて電源プラグを差してください。それでも正常な動作に復帰しないときは、50ページの「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を行ってください。

メッセージ一覧

ご使用の状況により、次のメッセージが表示されます。

メッセージ	意味
Cannot Read	異常な（損傷している）ため、CDが読み込めない。ディスクを交換してください。
Complete	設定/編集が完了した。
Er-CD01	CDの動作に異常がある。（電源を切って、再度入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お近くのオンキヨー修理窓口にお問い合わせください。）
Full	文字入力中に最大文字数を超えた。
Memory Full	CDで25曲を超えてメモリーしようとした。
No Change	文字入力で変更がなかった。
No Disc	ディスクが入っていない。

主な仕様

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

CDレシーバー部（CR-S1）

■ 総合

電源・電圧　AC 100V、50/60Hz
消費電力　42W
待機時電力　0.2W（時計表示なしのとき）
最大外形寸法　205(幅)×88(高さ)×320(奥行)mm
質量　4.2kg
音声入力
　デジタル（光）　1、DOCK/2
　アナログ　LINE1、LINE2/DOCK、LINE3
音声出力
　アナログ　LINE1
　サブウーファープリアウト　1
　スピーカー　1系統
　ヘッドホン　1

■ アンプ部

実用最大出力　20W＋20W（6Ω、JEITA）
　27W＋27W（4Ω、JEITA）
全高調波歪率　0.2%（1kHz、1W出力時）
ダンピングファクター　50（8Ω）
入力感度/インピーダンス　150mV/50kΩ（LINE1）
音声出力電圧/インピーダンス
　150mV/2.2kΩ（LINE1）
周波数特性　10Hz～60kHz/＋1dB、－3dB（LINE1）
トーンコントロール最大変化量
　±5dB、80Hz（BASS）
　±7dB、10kHz（TREBLE）
　＋3dB、80Hz（S.BASS1）
　＋7dB、80Hz（S.BASS2）
SN比　95dB（LINE1、IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス　4Ω～16Ω

■ チューナー部

＜FM＞
受信範囲　FM：76.0MHz～90.0MHz
プリセットチャンネル数　40

■ CD部

周波数特性　10Hz～20kHz
ダイナミックレンジ　100dB
全高調波歪率　0.006%
音声出力/インピーダンス
　1.3Vrms/2.2kΩ（LINE1）

スピーカー部（D-S9）

形式　2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス　4Ω
最大入力　70W
定格感度レベル　83dB/W/m
定格周波数範囲　45Hz～100kHz
クロスオーバー周波数　6kHz
キャビネット内容積　8.1リットル
最大外形寸法　167(幅)× 299(高さ)×259(奥行)mm
　(グリルネット、ターミナル突起部含む)
質量　4.1kg
使用スピーカー
　ウーファー　13cm A-OMF MONOCOQUE型
　ツィーター　3cm リング型
ターミナル　プッシュ式
防磁設計　有（JEITA）

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製 品 名 X-S9
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　　（　　　　）

メモ：

ONKYO

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　10：00〜18：00
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

G1008-1

SN 29400552

29400552